



The Japanese Society for Cardiovascular Surgery Under Forty U-40 Annual Report 2020

U-40 担当理事ご挨拶	1
U-40 代表幹事挨拶	
U-40 副代表幹事挨拶	
支部紹介	5
‣北海道支部	
‣東北支部	
‣関東支部	
‣東京支部	
‣中部支部	
‣近畿支部	
‣中国四国支部	
‣九州沖縄支部	
U-40 プロジェクト活動報告	42
‣日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム	
‣Advanced Lecture Course	
‣基本手技定量化プロジェクト	
‣先天性プロジェクト	
‣女性医師キャリア形成プロジェクト	
BLC オンライン化への道	56
-オンライン BLC, はじめました-	
第 50 回, 第 51 回 U-40 特別企画 発表報告	60
U-40 2020 年度会計報告	62
編集後記	63

U-40 代表理事挨拶

日本心臓血管外科学会 U-40 代表理事
秋田大学心臓血管外科学講座
山本 浩史 先生



日本心臓血管学会の U-40 担当理事を、2020 年から前任の福田幾夫先生を引き継いで務めさせていただいております。U-40 は心臓血管外科医を志す 40 歳以下の医師に、将来、我が国における高度な医療を担うための研鑽の場を提供する本学会の重要な教育プログラムであります。参加者は日本各地（8 支部）の研鑽の場集って外科修練とともに知識や理論を学んでおり（Basic Lecture Course、BLC）、年 1 回の学術総会においては日頃の成果を競い合う催し物（Advanced Lecture Course、ALC）が行われています。しかしながら 2020 年以降、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、我が国の学会活動が大きな影響を受け、U-40 の活動も開催形式の大きな変更が余儀なくされました。BLC は感染防止を念頭に Web による開催となり、実習はシミュレーターを用いた修練、座学は Zoom を介した各分野エキスパートによる講義となりました。この事態は今後もしばらく続くことになりましょう。本来、集って顔を見合わせながら（相手の表情を探りながら）、手取り足取りの指導のもと評価を受け、また論点を指摘して切磋琢磨する古来の教育方法がこれからも困難である可能性が高いと思われます。しかしながら現在の U-40 メンバーが、あらゆる困難に立ち向かい解決策を模索する優秀な人材の集まりであったことが幸いしました。Web 開催はみごとにうまく機能しました。実習も座学（講義）もアーカイブとして保存され、それらは SNS を通じて何度でも視聴（繰り返し学習）することができるという今までになかった教育方法を構築することができました。この経験は重篤な心臓血管疾患に遭遇した際、手持ちの方法を駆使して適切で高度な外科治療をイノベーションするトレーニングに通じると思われます。医師の務めは、生涯にわたって病気に苦しむ人々に治療手段を施し健やかな人生を提供することですが、特に心臓血管外科医を志す者には、迅速に困難に立ち向かう姿勢と安全で有効な治療（手術）手段を実践する努力が必要ですが、そのための新たな生産性の高い教育手段が加わったのであろうと判断しております。

今後は「With コロナ」の時代において、U-40 活動の在り方が模索されて行くのだろうと思いますが、学会員の皆様からのご意見を賜りながら、より充実した教育プログラムに発展させる努力を続ける所存です。U-40 は学会員の皆様の大きな協力があってこそ運営されてきております。今までの寛大なる応援に対し心から感謝申し上げますとともに、今後引き続きご助力を賜りますことをお願い申し上げます。

U-40 代表幹事挨拶

東海大学八王子病院 心臓血管外科
田中 千陽



U-40 代表幹事に就任しおかげ様で 3 年になりました。今年度は思い返すと激動の年でした。

第 49 回学術総会が終わり、さて今年度も前年度の活動を継続して新しい活動も始めたいと息巻いていたときに COVID-19 が世界中でニュースにあがってきました。最初是对岸の火事だったものの、みるみるうちに状況がひどくなり一時は今年度の活動はできないとあきらめていました。しかし横山理事長よりオンラインで活動をするようにとご指示をいただき、安全性を確保した上でできるだけ例年の活動を継続する方向に舵をきりました。その日から幹事で意見を出し合い、頭を悩ませる日々が始まりました。

Basic Lecture Course (BLC) は例年 8 支部ごとに年 1 回開催し、午前中は座学、午後は開催支部所属の上級医による指導下のハンズオンを開催しておりました。若手外科医が基礎力をつけ全国的にレベルアップすることを目標に開催してきたレクチャーであり、特にハンズオンは若手外科医一人ひとりの手技を外部の上級医に見てもらえる貴重な機会でもあるため、何とか継続したいと思っていました。そこで BLC ハンズオンのワーキンググループを立ち上げ、委員長の高橋賢一朗先生をはじめとするメンバーで密に検討し EBM 社にもご協力をいただき、全国どこで参加しても同じ条件になるようにシミュレータを用いた冠動脈吻合のオンラインハンズオンを構築しました。講師がリアルタイムで評価していただけるよう工夫もしました。オンライン BLC として 2020 年 10 月より本格運用し、ハンズオンは 12 月まで毎週継続しましたが良好な感触を得ています。講師の先生方におかれましては長時間の労をお取りいただきありがとうございます。まだ発展途上ではありますが、2021 年の春に改良の上再開する予定です。また、Advanced Lecture Course (ALC、吉野邦彦リーダー) では例年 BLC の優秀者が集まり冠動脈吻合コンテストを行っていました。これも開催が危惧されましたが EBM 社のスタジオをお借りし、高性能カメラで吻合箇所を映し出しリアルタイムで評価するシステムを作ることで、参加者と少数のスタッフのみがスタジオに集まり開催することができました。YOUTUBE での生配信をしましたが、評価者と同じ視野で観覧できるため視聴者も楽しめる内容だったと思います。非常に発展性のある会になり、参加者、講師の先生方には感謝申し上げます。ただ BLC ハンズオン、ALC どちらも冠動脈吻合以外の手技に関しては、安全に今まで通りの手技ができる状態でありませんので今後の課題としています。

上記のほか、例年と違うのは BLC 座学の開催をオンラインとしたことです。座学はむしろオンラインでの有用性が大きいと感じ、支部毎、プロジェクト毎に座学を主催する形式としました。支部持ち回りのテーマで講師から講義をいただき、講義後の討論も活発に行ってくれました。講義は若手外科医にとって非常に有用であり、学術総会、研究会がほとんどオンラインとなっている昨今では気軽に質問ができ臨床に則した討論を若手中心でできる貴重な機会です。先天性プロジェクト（平野暁教リーダー）では積極的に座学を開催し、著名な先生方による講義により先天性心疾患に一気に興味がわいた人も多いのではないのでしょうか。まだ BLC に参加していない U-40 会員の方はぜひご参加をご検討ください。ちなみに日本心臓血管外科学会所属の 40 歳以下の方であれば全員が U-40 会員です。ぜひお気軽にお問合せください。

昨年度から変わらず継続しているプロジェクトもあります。コラムプロジェクト（高木大地リーダー）ではテーマを働き方改革、新専門医制度とし、アンケート調査を通して現在の心臓血管外科に対する若手の意見を提言しています。また基本技術定量化プロジェクト（山田敏之リーダー）は汎用性のある定量評価法を検討しています。オンラインでの活動が活発になったことに後押しされる形で、様々な新しい試みもスタートさせました。女性医師キャリアプロジェクト（根本寛子リーダー）を始動させ、第 50 回学術総会会期中の夜に特別企画を開催しました。ALC の一環として血管外科チームが発足し、心臓血管外科医にとって有用な企画を予定しています。今後はより臨床に則した勉強会や、コーチングスキルを持った指導医を目指した講習会などを考えています。まだ顔を付き合わせての交流会はなかなか厳しい状況ですので、オンラインでの交流会も開催していければと思っています。

非常に困難な 1 年でした。しかしこの 1 年は U-40 幹事の底力と一体感を感じた貴重な時間でした。今の幹事がいなければ今年度の活動は不可能であり、これはこの時代に一緒に働いた仲間だからこそその一体感かもしれません。それぞれ支部、プロジェクトのリーダーは素晴らしいリーダーシップを発揮してくれました。U-40 幹事はみんな大切な仲間です。私たちの活動は明確な報酬があるわけではありませんが、がんばった幹事全員が得るものがある活動をしたいと考えています。今後も若手が U-40 の幹事になりたいと思うような仕事をしていきます。学会員の先生方には温かく見守っていただければ幸いです。末筆になりますが、横山理事長、U-40 担当山本理事、各支部担当理事、塩見事務局長、EBM 社はじめ、お世話になった皆様に感謝いたします。学会員皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

U-40 副代表幹事挨拶

日本医科大学 心臓血管外科

高橋 賢一郎



U-40 副代表幹事を拝命して2年目となり、多岐に渡りプロジェクトを進行するU-40の運営に微力ながら協力させて頂いています。この1年はかつてない激変に見舞われ、それに合わせ我々も変化に挑戦した年でした。COVID-19の世界的流行によって昨年までの当たり前な日常は崩れ、緊急事態が常態化する今日となりました。多くの学会がオンライン開催へと姿を変えていくのに習い、我々U-40が展開する企画イベントもオンライン化の波に乗りました。私はOFFJT関連のプロジェクトに関わり、Basic Lecture Course(BLC)およびAdvanced lecture Course(ALC)のオンライン化に注力しました。

思い返せば初夏の頃に「BLCをオンラインでやろう」の田中代表提言を発端にBLCオンライン化計画が立ち上がり、座学講義とハンズオンの二本立てのオンラインパッケージをゼロベースから作ることにになりました。BLCは毎年全国で修練医300人規模を巻き込む一大イベントなので、これをオンライン化するのはたやすくはないことで、当初は本当にできるか結構不安でした。取り掛かって数カ月、構想と実験を繰り返しながら、結果的にオンラインBLCは突貫作業で完成しました。その成功の過程は、全国の幹事がそれぞれの特性を生かし、力を集結した結果に他なりません。全国の幹事が各々の人脈を辿って、多くの指導医の先生方へ講師としてのご協力を呼びかけました。受講者の申し込みを短期間で全国から募る際には、能力を持った幹事が特設websiteを自作し、事務局の方々と協力してプラットフォームを試行錯誤して作り上げました。各地で数々の座学講義が収録され、そして全国へ発信されました。また、ハンズオンに関してもYOUCANを用いた冠動脈吻合手技レクチャーを述べ70名の受講者に経験していただきました。振り返ってみれば、従来の実地開催では叶わなかった他地域の先生方との交流や、講義・レクチャー内容の全国共有を実現できました。オンラインは、むしろ求め合う人々の距離を縮める最適化された手法であると強く感じました。こうして我々の「変化への挑戦」初年度は、チーム力を発揮して一定の成果を上げることができました。

U-40は変化に貪欲に、ますます活動の幅を広げて今後も邁進していく所存です。心臓血管外科に関わるみなさまにご支援・ご協力を頂けますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部紹介

北海道支部

北海道は広大な大地を各施設が広い医療圏でカバーしながら高度な医療を提供しています。心臓血管外科医の教育においても3つの大学を含む35の修練施設で若手の教育に尽力しています。大雪や野生動物による交通トラブルの中なんとか病院まで急いだり、鹿や馬、熊などによる外傷症例に出くわすことも稀にあります。土地柄なかなかみんなで集まる機会が少ないですが、これまでのBLCなどで知り合えたつながりを大切にして活動を楽しんでいます。

北海道支部長

旭川医科大学 外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野教授
東 信良 先生



北海道支部長を拝命して以来、U-40の活動を応援してまいりましたが、このコロナ禍によって、年に一度のBasic Lecture Courseが中止となり、U-40活動は大きな試練に直面しております。

北海道支部は昨年、代表幹事をはじめ、幹事の多くが交代のタイミングとなってしまったので、交流が制限される状況下で幹事間の連帯も難しく、体制が整わない中で壁にぶつかってしまったように思います。U-40の活動の魅力は、心臓血管外科修練に燃える若者たちが、病院や大学の垣根を超えて交流し、意見交換したり腕を競ったりする中で、志高い心臓血管外科医が育ってゆく場を提供するものと心得ております。ピンチをチャンスに変えて、広い北海道でどのように活動の狼煙を上げてゆくか、若い力を今こそ爆発させていただきたいと願っております。Web上でのコミュニケーションや発表会、Youtubeの活用などを予定しているとのことなので、支部長として全力で応援させていただきますし、指導役が必要な場合には是非Over 40の力強い支援ネットワークを活用いただければ喜んで応援に駆け付けます。

他の支部とも力を合わせて、この未曾有の危機を乗り越えていきましょう！

北海道支部代表幹事

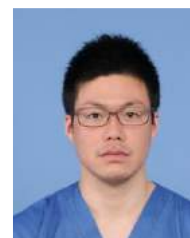
苫小牧王子総合病院 心臓血管外科
村瀬 亮太



U40 北海道支部代表の村瀬亮太(37)です。橋口前代表より宴会のノリで現職を引き継ぐこととなり、早1年が経ちました。しばらくはU40の活動内容も詳しく知らず、場違いな思いを味わいましたが、最近はどうやらそれらしい活動を意識できるようになってきたかなと感じております。この1年は非常に特殊な1年となりましたが、on lineでの様々な活動を通して日本全国のやる気に溢れた若手心臓血管外科医のみなさんとお話しする機会が増え、距離的にも離れがちな北海道にとっては逆にいい刺激になったと感じております。北海道もたくさんの有望若手心臓血管外科医がおりますので、みんなで北から全国を刺激していきたいと思います。個人的には大好きな飲み会・ライブなどが一気になくなる寂しい時代になってしまったので、早く事態が好転していくことを切に願っております。本年度もよろしくお願いいたします。

北海道支部副代表幹事

国立帯広病院 心臓血管外科
沼口 亮介



若手外科医の技術向上に何らかの形で貢献できるように努力してまいります。よろしくお願いいたします。

北海道支部広報

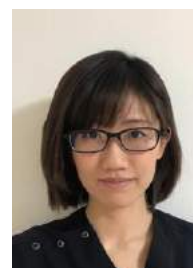
旭川医科大学 血管外科
竜川 貴光



U40 北海道支部広報を担当しております、旭川医科大学血管外科の竜川貴光と申します。2020 年度より広報を拝命致しましたが、COVID-19 の波紋により、学会にとどまらず ALC、BLC などの開催もリモート、web 開催への移行がすすみ、時代の変革を感じる日々です。私自身、今現在は大学院生としてほぼ臨床フリーで基礎研究に携わっている身であり、病床ひっ迫による手術数の制限や発熱症例への適切な対応などは、臨床最前線の先生方に比べると立ち会う機会はずっと少ないものの、それでも BCP レベル上昇に伴う実験の制限や、出張時の発熱患者対応などの機会もあり、旭川でのクラスター多発が生じた際には医療の重要性と脆弱性、マンパワーの尊さ、人々の感染への意識の影響など、医療そのものを改めて見つめなおすに至りました。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、少しずつ前に進まなければ、とも同時に思います。U40 の幹部として、心臓血管外科の世界、医療全体、また医療のみならず日本全体、世界全体ために、微力ながら、私ができることに尽力したいと思います。

北海道支部幹事

砂川市立病院 心臓血管外科
在原 綾香



2020 年から U-40 北海道支部幹事になりました在原綾香と申します。まだまだ心臓血管外科の世界に足を踏み入れたばかりですが、やはり手術は面白く、今後も長く続けていけたらと感じます。今年度は新型コロナウイルスの影響でほぼ活動できませんでしたが、来年度は U-40 の活動に微力ながら貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

北海道支部幹事

札幌中央病院 心臓血管外科
内山 博貴



札幌中央病院心臓血管外科の内山と申します。U40 北海道支部の幹事を務めさせていただき 1 年が経過します。コロナ禍で幹事らしい仕事はあまりできておりませんが、今年こそ若手心臓血管外科医が盛り上がるようなお手伝いできればと思います。よろしくお願いいたします。

北海道支部幹事

旭川医科大学 心臓外科

若林 尚宏



旭川医科大学心臓外科の若林尚宏(写真右)と申します。前幹事の中西仙太郎先生(写真左)より拝命を受けました。旭川医科大学病院心臓外科では、紙谷寛之教授の下、多くの若手が活躍しています。経験や力量に応じて、単弁置換や冠動脈バイパスから弓部置換まで定期的な執刀機会を与えられ、みな日々意欲的に修練に励んでいます。また、関連施設として、国内の high volume center への派遣を通して、技術・知識を学ぶとともに、道内の施設で重要な責務を担い地域医療を支えている他、基礎研究を含めアカデミックワークにも熱が入っています。個人的な話では、昨年からは研究活動に従事しており、医局のご厚意もあり、育児休暇も取得することが出来ました。手術手技よりはるかに思い通りにいかない子育てを通して身に着けた忍耐力と臨床への欲求をもとに、新年度より赴任予定の札幌心臓血管クリニックで修練に励んでいきたいと考えています。末尾となりますが、昨今のコロナ禍の中、医師として社会人としての在り方を再考しつつ、北海道ひいては日本の若手心臓外科の発展に微力ながら貢献していきたいと考えておりますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。

北海道支部幹事

北海道大学病院 循環器・呼吸器外科

杉本 聡



北海道支部、杉本 聡です。2020 年度は大学院、専門医とに追われ積極的に関わられませんでした。来年度は地方の中核病院へ異動となり、心臓血管外科医としても U-40 としても一層尽力したいと思います。

最近解離の依頼に対して心の受け入れが早くなってきたのを感じています。一見放心しているようですが全てを受け入れている表情です。最近解離の依頼に対して心の受け入れが早くなってきたのを感じています。一見放心しているようですが全てを受け入れている表情です。

北海道支部幹事

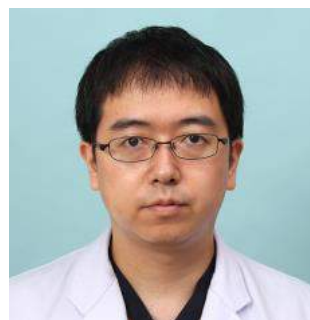
函館五稜郭病院 心臓血管外科
大川 陽史



函館五稜郭病院心臓血管外科に所属しております 2014 年卒 大川陽史と申します。昨年度より U-40 北海道支部幹事として任命頂きました。昨年度 1 年間は新型コロナウイルスの影響もあり学会がオンライン開催で行われることがほとんどで先生方との交流の機会がなかなか得られず残念であります。学会がオンラインでなくなり先生方との交流の機会がたくさん設けられることを非常に楽しみにしております。4 月から札幌医科大学病院へ異動となり環境も大きく変わります。これまでなかなか参加できる機会が少ない状況でございましたが U-40 の活動に積極的に参加させていただくとともに自身も変わらず精進する所存でございます。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが御指導・御鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

北海道支部幹事

北海道大学病院 循環器・呼吸器外科
庭野 陽樹



北海道支部の庭野陽樹と申します。

専門は先天性心疾患です。

若輩者ではございますが、幹事として U-40 の更なる発展に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

東北支部

東北支部は東北6県（青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島）で構成される支部です。U-40 会員は70名程度の比較的小さな支部になります。東北の福島にはEBMのFISTがあり、手術トレーニングには恵まれた環境にあります。ここ数年はFISTでBLCを開催してきましたが、小さい支部だけに毎回のように出席してくれる先生方が多くアットホームな雰囲気支部となっております。2020年は新型コロナの影響で会員が直接会うことはできませんでしたが、幹事は個性的な者ばかりで、飲み会になればそれは楽しいメンバーです。東北支部ではアットホームな横のつながりを大事に3つの笑顔に向かって突き進んでいきたいと思っています。

東北支部長

東北大学心臓血管外科学分野

齋木 佳克 先生



前任の福田幾夫先生の退官を受けて、今年度から支部長の襷を受けました。これまで、心臓血管外科 U-40 の皆さんの活躍を横目で見ている、とても眩しく感じていました。日常業務に多忙の中、また、自分自身の修練にのみ心を奪われかねない成長期に、若き同僚のために、また、所属する学会のために時間とエネルギーを注ぎ込んで productive なことを企画し運営する姿はとても輝いて私の眼に映っています。そのような主体的で献身的な活動を、とても高く評価したいと思います。これからもその姿勢が維持されている限り、私たち指導医が U-40 を支援することは至極自然のことのように思いますし、そこから喜びを共有できるように感じます。今後も多くの仲間を募って、知恵を出し合い創造的な活動を企画しましょう。

2020 年度における東北支部主催の BLC は、社会情勢を鑑みてオンライン形式での座学として開催されたわけですが、「感染症対策~SSI 予防と治療~」というテーマ設定のもと、適格な講師をオンライン上にお招きすることにより、大変充実した勉強会を構成することができたように思います。講師と参加者との積極的な議論が展開され、とても充実した時間となったとの声が多かったと報告を受けております。参加形態の変化にも柔軟に対応し、首尾よく運営されたことを称賛しています。

東北支部代表幹事

山形大学医学部附属病院 心臓血管外科

黒田 吉則



2018 年度より東北支部代表を務めさせていただいている黒田吉則と申します。U-40 発足当初から幹事を務めさせていただいており今年で 9 年目になります。東北支部は U-40 会員が少ない支部です。少ない会員数だからこそ横のつながりが強い東北支部を目指して参りたいと思います。しかしながら、今年は COVID-19 の影響で BLC も ON LINE となり、直接顔を合わせることができず残念でしたが、U-40 の新たな可能性が開けた 1 年だったと感じております。また、今年度より代表を高木先生に交代いたします。まだ幹事の任期は 1 年残っておりますので、引き続き若手心臓外科医の発展に向けて会員の先生方のお力になれたらと思っております。U-40 の目指す『3 つの笑顔』を一緒に作り上げていきましょう。どうぞよろしくお願い致します。

東北支部副代表幹事

秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科

高木 大地

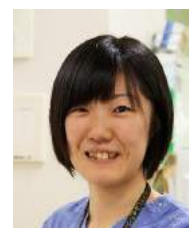


東北支部幹事の高木大地です。今年は、コロナウイルスにより支部ごとで開催していた BLC ではなく、全支部が協力して行う online BLC が開催されました。初めての試みでありながら、非常に多くの貴重な講義を受けることができたり、また、インターネットを介した実技指導が受けられるなど、非常に完成度の高い BLC となったと感じています。一方で、これまでの BLC は地方の若手心臓血管外科医が集まり、職場による環境や修練状況の違いを知り、失敗談や経験を共有する場であったと考えており、その点において、online BLC にも、改善できる部分があると考えています。去年よりもより良いものを作り、東北心臓血管外科が盛り上がるよう、幹事として微力ながら頑張ろうと思っております。よろしくお願いします。

東北支部広報

山形大学医学部附属病院 心臓血管外科

石澤 愛



東北支部幹事の石澤愛です。今年度は他施設の若手心臓血管外科医の先生方と直接会って話す機会が限られてしまう状況でしたが、学会や勉強会等オンライン開催となり、より自由に参加しやすい環境でもあったと思います。U-40 の活動を通して学べる事、得られる事はたくさんあると感じていますので、これからも同世代の先生方と共に日々研鑽を積んでいければと思います。よろしくお願い致します。

東北支部幹事

弘前大学医学部 胸部心臓血管外科

小渡 亮介



コロナ禍で全ての日常が一変し、この大きな変化を乗り切る人、飲み込まれてしまう人の二極化が進んでいます。我々若手外科医の世界では、特に学術活動の取り組みに関して二極化が進むことが懸念されます。弘前大学では若手の発表、論文報告などを積極的に行うよう指導していますが、学術活動に対するモチベーション維持は大きな課題です。こんな中だからこそ、U40でのつながりは大事だと思います。閉鎖的にならず、ちょっとした成功や失敗を共有し、相談をして共に高めあえるのがこの会の強みだからです。お互い鼓舞しあい、なんとか皆でこの大波を乗り越えられたらと思っています。

最近、僕は何かにつけて「コロナだしね」と口から出して、何かをしない言い訳にしています。でも、僕らが足を止めて蹲っていても時間の流れは止まってくれません。共に寄り添って悲しんではくれません。やりなさいと言われるからやるのではなく、こういうことをやりたい、やらなければと若手が能動的に動く組織作りが必要です。僕も気づけばU40でかなり上の学年になりました。自施設の体制を整えることは勿論、U40東北支部副代表として代表の高木先生を支え、東北からU40を盛り上げたいと思います。心を燃やせ

押忍

東北支部幹事

須賀川病院 心臓血管外科

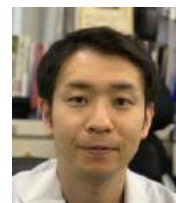
高野 隆志



U-40 東北支部幹事をさせていただいております、須賀川病院（福島県）心臓血管外科の高野隆志です。参加者として初めてU-40 BLCに初めて参加させていただいたときに、この回の本当の意味での有意義性は、同年代で志高く活動される参加者や幹事の先生方、そして指導いただく御高名な先生方との関わりを持てる機会を得ることができるからこそあると実感しました。それ以降、幹事として参加させていただき、Lecture開催を重ねながらその中でさまざまな出会いの機会をいただき、日々の臨床への新たな刺激とMotivationの高まりを得られてきたと感じています。また、よく考えられたBLCの内容は、技術修練・知識獲得の場としてとても良いものだと考えています。また、他参加者と自分を比較できることで、自分の立ち位置を俯瞰的に確認することができ、あらためて自分の将来を見据える機会として非常に役立つと考えます。幹事として最終年となりますが、これからの若い心臓血管外科医に、U-40の有意義な活動を、継続的に広く提供していける場となるよう、頑張らせていただきます。

東北支部幹事

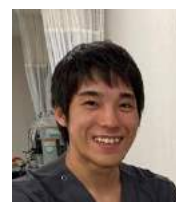
福島県立医科大学 心臓血管外科
石田圭一



福島県立医科大学の石田圭一と申します。東北支部の個性的な幹事の皆様から刺激を受けながら、活動させて頂いております。U-40 では、医局の垣根を越えて、同世代の先生方と交流が出来ることを大変楽しみにしております。今しか出来ないことを精一杯やっていきたいです。

東北支部幹事

岩手医科大学付属病院 心臓血管外科
田林 東



2018 年より U40 東北支部の幹事を務めさせて頂いております。若手の心臓血管外科を盛り上げていけるように、微力ではありますが、努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。

東北支部幹事

東北大学 心臓血管外科
伊藤 校輝



2020 年度より U-40 東北支部の幹事を務めさせて頂いております、東北大学心臓血管外科の伊藤校輝です。同じ年代の心臓血管外科の同志と刺激し合い、高め合いながら、より良い心臓血管外科医療をつくり上げていきたいと思っています。皆多忙を極める毎日の中、加えてこのコロナ禍の状況で大変ですが、少しでも効率よく活動の場を作っていけるよう、微力ながら貢献できれば幸いです。宜しくお願いします。

関東支部

関東支部の従来の BLC は、9 県の様々な施設から参加者が集まり、普段狭い環境の中にいる我々にとっては大事な交流の場でもありました。2019 年度の BLC を基に、今年度はさらに良い会にしたいと意気込んでいたところ、想定外のコロナ禍になってしまいました。BLC は初めてのオンライン開催となり、当支部のみならず、U40 全体が変化を迫られた一年だったと思います。今年度の関東甲信越支部担当の座学テーマは「心筋保護」で、この分野の第一人者でいらっしゃる森田紀代造先生にご講演をいただきました。心筋保護の歴史から、若手も知っておくべき事項、最新のトピックスまで、幅広く学ばせていただき、大変有意義な会となりました。来年度もしばらくオンラインでの活動が続くと思われますが、支部幹事の皆で協力しこの状況を乗り越えていきたいです。

関東支部長

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科
鈴木 孝明 先生

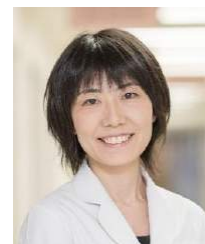


U40 の活動に関わるようになって約 3 年が経過しました。昨年は根本新代表のもと幹事の先生方も入れ替わり新体制の船出となりましたが、この 1 年は人類にとっても U40 にとっても、そして U40 関東甲信越支部にとっても特別な一年となってしまいました。ご自分の所属する施設での診療は勿論のこと、U40 の活動も COVID-19 に振り回された 1 年でした。その苦難の中、毎年恒例となっていた BLC を開催形態を変えて実行出来たことは皆さんの努力の賜物であり、また今後の活動を続けていく上での自信にもなったのではないのでしょうか。座学については東京慈恵医科大学の森田紀代造先生による心筋保護の講義が WEB を使った online BLC として配信されましたが、現地に居なくても受講することができたので、より多くの先生方が勉強する事が出来たと思います。現地での受講に加えて WEB でのアーカイブ配信を行うことや他の支部の BLC も受講出来るシステムが構築出来たことは今後の BLC の発展のために良かったのではないのでしょうか。また、ハンズオンについても素晴らしいアイデアのもと、online で開催可能となりました。より多くの参加者が現場で指導を受けられる現地開催に勝るものではありませんが、online BLC ハンズオンも改良を加えながら現地開催に併用する道が拓けたと思います。COVID-19 の感染状況にもよりますが、今年の BLC は是非とも現地で皆さんと顔を合わせて行うことができると良いですね。

U40 関東甲信越支部が今まで以上に活発に、そして新たな取り組みも入れて発展し続けて欲しいといつも願っております。その上で、少しでも U40 のお役に立てればと思っております。今年もまた U40 関東甲信越支部の皆さんとはお互いに切磋琢磨しつつ関東甲信越支部はもちろんのこと、U40 全体を更に発展させて行きましょう。今後とも宜しくお願いします。

関東支部代表幹事

横浜市立大学附属病院 心臓血管外科
根本 寛子



横浜市立大学の根本寛子です。前代表の岡村賢一先生の留学に伴い、今年度から関東甲信越支部代表に就かせていただいております。今年度は、残念ながら支部幹事が直接集まることが叶いませんでしたが、web ミーティングで近況報告をしながらチームワークを高めてきましたので、たとえコロナ禍であっても、この繋がりは変わりません！

支部副代表と全体広報を兼任となった伊藤貴弘先生は若手ながら大変頼もしく、傍で助けてもらっています。横山泰孝先生、新津宏和先生、三木隆生先生は、豊富な臨床経験を基にいつも重要なご意見を下さり、支部の前進のために必要不可欠な存在です。今年度から新たにメンバーとなった北條竜司先生は、途中で九州に異動となりましたが、オンライン化が(こちらとしては)逆に幸いし、リモートで積極的に参加してくれました。

そして今年度で、留学のために退任となる田中駿先生、出淵亮先生、坂田朋基先生、先生方のおかげでいつも楽しく活発な活動ができました。本当にありがとうございました。くれぐれもお身体を大切に、新天地での益々のご活躍をお祈りしています。

顧問の鈴木孝明先生には我々の活動をいつも温かく見守っていただき、心より御礼申し上げます。また、2019年度のBLCで講師としてお世話になりました各施設の先生方からも、今年度もお力添えをいただけたことを幸甚に存じます。

来年度から新幹事が4人増え、顔ぶれは大きく変わりますが、この関東甲信越支部の雰囲気の良いさを変えることなく、新しいチームを作っていきます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

関東支部副代表幹事・広報

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘



関東支部副代表、全体広報の伊藤と申します。先天性プロジェクトにも参加しており、若手小児心臓血管外科医のスキルアップに関して活動しております。U40の仲間と情報共有し若手心臓血管外科の未来を考えることは、自分のモチベーション維持にもつながります。全国各地の若手医師が情報共有できる環境を目指し、より良い日常診療・生活につながることを願っております。

関東支部幹事

戸田中央総合病院 心臓血管外科
横山 泰孝



戸田中央総合病院心臓血管外科の横山泰孝と申します。関東甲信越支部の幹事を務めさせていただき今年で3年目になりました。COVID-19の影響で多くの学会や勉強会がwebで行われることになり、直接お会いする機会が減ったことは残念ですが、逆に日本全国の施設の先生とwebを通じて勉強できることで新しい発見もありました。今年は現地開催とwebの良いところを合わせることでU-40の同年代の仲間とともにより良い医療を提供できるように精進したいと思っております。今年もご指導よろしくお願い申し上げます。

関東支部幹事

済生会横浜市南部病院 心臓血管外科
出淵 亮



今年は、コロナ禍でU-40の活動も大きく変わりました。同じ支部の先生とも顔を合わせることではなく、BLC本番のみならず、その準備・ミーティングや決起集会も含め、全てWEBでやりました。そして初めてのことで良かったです。しかしそれが昨年度までと違う緊張感やワクワク感を感じることもできました。ハンズオンでは、冠動脈吻合についてあれほどいろんな手技が見え、議論もできましたし、むしろこれまでの対面でのハンズオンでは得られなかった経験でした。ピンチこそチャンスとはこの事だなと改めて感じました。また座学講義の準備においても、WEBを活かして森田先生と予めWEBミーティングをし、森田先生には大変ご配慮いただきながら、我々が勉強したい事などを中心に講義の内容の詰めることができました。これによって、本当に内容の濃い座学講義になり、本当に成功だったなと思います。こうしたコロナ禍の影響をいい方向に繋げられた1年であり、メンバーみんなでいいものを共有できたと感じています。

私事ですが、来年度よりベルギーへ心臓外科の臨床・研究で留学させていただく機会を頂きました。このため今年でU-40の活動は引退させていただきます。ここで経験したことは、本当に貴重な経験になりました。そして、今年のコロナ禍で培ったことは、特に海外などから活かせる機会があるかと思っております。最後に、今後のU-40の益々の発展を祈っております。本当にありがとうございました。

関東支部幹事

佐久総合病院佐久医療センター 心臓血管外科

新津 宏和

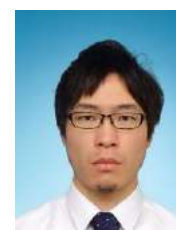


佐久総合病院佐久医療センターの新津宏和と申します。若手にとって実際臨床に繋がる手術手技トレーニングなどに興味があります。活動を通して多くの先生方と交流を深め、より良いものを作り上げて行きたいと思います。よろしくお願い致します。

関東支部幹事

伊勢崎市民病院 心臓血管外科

三木 隆生



2019年5月よりU-40関東甲信越支部幹事として諸活動に参加させて頂いております。引き続き2021年度も活動参加を継続させて頂きます。この活動を通して、(自分も含めた)心臓血管外科若手医師の研鑽の場としてのBLCの更なる質の向上と、同世代の輪・つながりを広げていく助力が微力ながらできたら幸いと考えています。昨今のCOVID-19感染症蔓延をうけて従来形式の活動が制限され、なかなかもどかしい状況が続いていますが、その中でもwebを介したinteractiveな活動を模索するよう努力するのが個人的な今年の抱負です。皆様どうか宜しくお願い致します。

関東支部幹事

千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科

坂田 朋基



千葉大学心臓血管外科の坂田朋基と申します。心臓血管外科U-40の活動を通してお互いの技術や知識を持ち寄って、同世代の心臓外科医みんなで切磋琢磨していけたらと思います。2021年度より留学のためU-40関東支部を離れてしまいますが、残りの期間もどうぞよろしくお願い致します。

関東支部幹事

新久喜総合病院 心臓血管外科

北條 竜司



卒後5年目、今年外科専門医試験と自分が研鑽中の身ですが、自分も成長しつつ、微力ですが、活動に関わっていきたいと考えております。宜しくお願いします。

東京支部

東京支部は修練施設が密集しており、U-40 の心臓血管外科医が多い支部の一つです。本年度の東京支部は、非常にバランスの良いメンバー構成になっており、専門分野が成人心臓大血管 6 名、先天性 2 名、末梢血管 1 名で、幅広い活動を行っています。また、プロジェクトリーダーとして活躍している活動的な幹事が多く在籍している支部でもあります。著名な教授・講師の先生がたを目標とする、若手・中堅の心臓血管外科医が多く在籍しており、横の繋がりを大切にし、情報共有を行うことで、将来の発展に向けて日々精進しています。

東京支部長

東京大学大学院医学系研究科 心臓外科

小野 稔 先生



新専門医制度による外科サブスペシャリティーである心臓血管外科の研修 1 期生が 2021 年 4 月から誕生します。U-40 のメンバーの多くは旧制度での心臓血管外科専門医をすでに取得したか、あるいは取得予定なのではないと思います。ある意味では、今年から新しい世代の心臓血管外科若手医師が誕生するとも言うことができます。専門医機構での準備の遅れから、サブスペとしての心臓血管外科としての修練登録が 1 年先の 2022 年 4 月からしか行うことができないことが明らかになっており、きっと今年の新人たちは言いしれぬ不安感があるのではないかと思います。U-40 皆さんの暖かな包容力で元気づけてあげてください。

U-40 の幹部の努力によって、専門医取得のクレジットとして必須となる off-JT のトレーニング方式がかなり定着してきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行が専門医資格の取得・更新に必要な症例数の確保を困難にしたばかりか、off-JT のクレジットとしてのトレーニングの機会まで奪ってしまうという大変に困った状況がもたらされました。この状況を受けて、心臓血管外科学会の研修・教育委員会・Off-JT 普及推進 WG および U-40 運営委員会・U-40 メンバーの努力によって on-line Off-JT のシステムが開発され、すでに活用され始めています。今後、on-site Off-JT トレーニングに加えて、on-line トレーニングが多忙な若手外科医の技術向上に向けて大きな力を発揮するものと期待しています。デジタル通信技術の進歩は急速で、トレーニングのみならず、学術集会の参加・発表形態についても変革し続けていくことは間違いありません。U-40 の皆さんの情熱と行動力で、新たな時代に向けて次々と新しい情報を発信し続けてくれることを期待しています。

東京支部代表幹事

東京医科大学 心臓血管外科

丸野 恵大



2020 年度より東京支部代表幹事を務めさせて頂いています東京医科大学 心臓血管外科の丸野恵大です。2019 年度から幹事として参加させて頂いていましたが、光栄にも代表幹事を拝命致しました。はっきり言って全くの無名ですが、このような機会を頂き、著名な教授や講師の先生がたにお目にかかることができ、非常に貴重な体験をさせて頂いています。

さて、元々東京支部には 13 の大学病院や high volume center と言われる市中病院が多く混在しており、各施設の症例数は分散され、それに伴って U-40 の心臓血管外科医も分散している状況です。各施設において、体制は微妙に異なるところがあり、情報共有や意見交換を行うだけでも勉強になります。そんな些細な交流から、その施設の方針が見え、体制が理解できることもあります。

また、本年度はコロナウイルス感染症の蔓延に伴い、学会や講演会がオンラインで行われることとなり、U-40 の Basic Lecture Coarse も同様にオンライン開催となりました。直接面と向かっての意見交換や交流ができなくなっている、技術を直接指導して頂く機会が少なくなっている状況は非常に残念ですが、オンラインの利点として、各支部に関係なく全国の BLC に参加できること、全国の講師の先生の講演を受講することが可能です。そんなオンラインを使用することで、全国の U-40 の横の繋がりも強化していけるのではないかと考えています。幅広い若手心臓血管外科医の意見を組み上げ、U-40 の理念や目標、未来の発展への一助となれば良いと思います。今後もいち若手心臓血管外科医として日々精進して参りますので、宜しくお願い致します。

東京支部副代表幹事

東京都立小児総合医療センター 心臓血管外科

平野 暁教



U-40 東京支部 副代表幹事をしています東京都立小児総合医療センター 心臓血管外科の平野暁教です。慶應義塾大学 心臓血管外科医局所属で、現在小児心臓外科として修練中です。U-40 の東京支部には 2017 年度から参入、U-40 先天性プロジェクトのリーダーも兼任しています。小児心臓外科をやりたい若手はぜひ一緒に頑張っていきましょう！狭い心臓外科の世界で、横のつながりはとても大切だと感じております。引き続き日本心臓血管外科学会 U-40 活動に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

東京支部広報

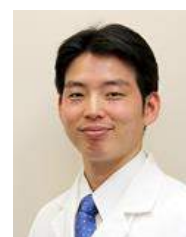
平塚市民病院 血管外科
林 啓太



平塚市民病院血管外科の林啓太と申します。慶應義塾大学の医局に属しており、2018年より東京支部の幹事を、本年度より東京支部の広報担当を勤めております。末梢血管領域を専門としております。U-40を通じて、横の繋がりと縦の繋がりを大切に、若手血管外科医として、これからの心臓血管外科、血管外科を盛り上げていきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

東京支部幹事

聖路加国際病院 心臓血管外科
吉野 邦彦



2018年度よりU-40東京支部に所属し、Advanced Lecture Course (ALC)のプロジェクトリーダーを務めさせていただいております。U-40の活動を通じて、外科医として必要とされる技術、知識、人間性を学び、共有していくことを目標としております。U-40幹事としてもまだまだ未熟ですが、活動を楽しみつつ、支部に貢献できればと思っております。

東京支部幹事

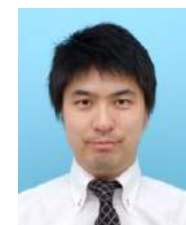
東京女子医科大学 心臓血管外科
片桐 絢子



2020年度から東京支部幹事をさせて頂いております東京女子医科大学の片桐絢子と申します。私自身、U-40の交流や様々な企画を通じて大変刺激を受けております。活動を通じて、医局や地域の垣根を越えて日本の若手心臓血管外科医のために少しでも貢献できればと思っております。

東京支部幹事

東京都健康長寿医療センター 心臓血管外科
伊達 数馬



2020年より東京支部の幹事をさせていただいております。新型コロナウイルス感染症が日常診療にも影響を及ぼしておりますが、重症者の治療を担当させていただく機会もあり、改めて我々の診療が様々な方のサポートにより円滑に進んでいるのだと再認識させられました。30代の最後をこのようなU-40の活動に関わる素晴らしい機会をいただき大変ありがたく思っております。心臓血管外科の更なる発展につながるよう、微力ながら尽力してまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

東京支部幹事

日本医科大学 心臓血管外科
高橋 賢一朗



U-40 幹事として3年目に入り、活動にだいぶ慣れてきたように感じます。日本の若手の修練環境向上に向けて、OFFJTに関わるプロジェクトに主に携わっています。

U-40 活動に参加する最大のメリットは、横の繋がりが広がることだと思います。閉鎖的になりがちな外科医という職種ですが、活躍する同年代たちと交流を持てるのは、自分自身のキャリア形成にも大きな恩恵をもたらしています。今年も挑戦をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

東京支部幹事

青梅市立総合病院 心臓血管外科
櫻井 啓暢



本年度より東京支部幹事を務めております。就任前は U40 Basic Lecture Course に参加し知識や手技の修得を行い自身が研鑽を積む中でよい刺激を受けてきました。日々修練を積む中で抱いていた不安や疑問を同年代の仲間と共有できることは大きな励みとなっています。特にこの1年間で生活環境、病院環境は大きく変わり、学会などはオンライン開催が中心となり直接的な関わり合いは希薄であり、より一層つながりの大切さを実感しました。私自身はまだ U40 の中での活動に深く関われておりませんが、今後研鑽や支え合いの場となるような環境が作れるよう尽力できればと思います。

東京支部幹事

東京慈恵会医科大学附属病院 心臓外科
星野 理（さとし）



2021 年より田中 U-40 代表に頼み込んで東京支部の幹事に就任させていただきました。2 年前までは医局に属さず長野の地方病院で診療部長をしていましたが今は都心の大学で大学院生という 180 度真逆の生活をしております。地方と都心の違い・医局員とフリーランスの違いを経験した立場から、医局制度を超えた若手育成の枠組み作りや、大都市への医師の偏在・地方の過疎化、病院の集約化などに興味があり、U-40 としてそれらの問題に貢献できればと考えております。同じような問題意識をお持ちの方、ぜひここから変えていきましょう！

中部支部

中部支部は愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山の7県で構成されており、比較的広範囲を担っています。2020年度より各県全てから支部幹事を選出し、また各々の専門も成人心臓・小児心臓・末梢血管と3領域が網羅されバランスが取れているのが特徴です。今年度はCovid-19の影響から各々が県を跨いで会うことが困難となりましたが、そのぶん密に連絡を取り合うことで今まで以上に結束できたように感じます。With コロナの支部の在り方を模索していきたいと考えております。

中部支部長

名古屋大学大学院 心臓外科
碓氷 章彦 先生



日本心臓血管外科学会中部支部長の名古屋大学心臓外科の碓氷です。

U-40 は私の前任の上田裕一名古屋大学名誉教授が2012年に日本心臓血管外科学会理事長に就任した際に、若手医師の意見を学会運営に反映させるために構築した組織です。発足から10年が経過し、リーダー・スタッフの引き継ぎが進み、U-40組織も大きく成長していると思います。

U-40 はクラブ活動のように、U-40 を卒業した中堅医師が若手外科医の教育に当たり、お互いを切磋琢磨しながらレベルアップしていく組織だと思います。若手医師の自己修練の場、意見交換の場、意見を学会に伝える自己表現の場として、また、皆さんが集えるフォーラムとして利用頂ければと思います。

U-40 を卒業した中堅医師の皆様には、U-40 に対する暖かいご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。2020年はコロナ禍のためU-40活動は制限を受けましたが、私たち中部支部は全面的にU-40活動を応援致します。

中部支部代表幹事

藤田医科大学 心臓血管外科
野田 美香



2016 年度より中部支部幹事に就任し、2020 年度より支部代表を引き継ぎました、藤田医科大学 野田美香と申します。大学および透析病院では成人の心大血管および末梢血管を、中京病院では先天性心臓を勉強しました。今年度は大学で学位取得し、次年度より中京病院にもどり先天性心臓を中心に勉強する予定です。2020 年はコロナ禍で全ての規定概念を考え直し、早急に対応せねばならない激動の年となりましたが、今後も変化を受け入れ柔軟に対応できるよう努めたいと思います。

中部支部副代表幹事・広報

小牧市民病院 心臓血管外科
末永 啓人



2021 年 7 月から小牧市民病院に赴任となり、新しい環境になりましたが、今までと変わることなく臨床に没頭する毎日を送っています。U-40 は心臓血管外科学会が若手の意見を取り入れ、若手に活動の場を提供する取り組みではありますが、その中部支部の幹事として活動できる機会を頂き、光栄に思っております。一人前の心臓外科医となるべく、日々努力をしています。U-40 の活動がより良い医療のもととなり、最終的には患者さんに還元されることを信じて、尽力して参りたいと思います。

中部支部幹事

名古屋市立大学 心臓血管外科
慶應義塾大学 外科学(心臓血管)
山田 敏之



私自身、現在 39 歳（2021 年 1 月現在）でそろそろ U-40 も卒業が近づいている状況ですが、心臓血管外科医になって 10 年以上が経過し、心臓血管外科専門医・学位も取得し、自分のキャリアが今後どのようなになると Happy なのか？を考える時間が増えました。普段の仕事の大半の時間は臨床医であることはもちろんですが、大学教員としての立場や研究者としての立場、はたまた医療機器開発を夢見るプロジェクトリーダーとしての立場や、大学の医局長としての立場、さらには妻・息子 3 人家族の一家の主人（あるじ）という立場まで、「できることはなんでもやってみる」という精神で色々な分野に積極的に首を突っ込んでいます。自身の将来に夢が持てるようなキャリアを色々な角度から模索しつつ、U-40 では特に、これからの心臓血管外科のあるべき形を皆さんと共に考えていけたらと思っております。

中部支部幹事

金沢大学 先進総合外科
上田 秀保



医師免許取得後 11 年となった上田秀保です。2020 年は自分の転機となる出来事が続きました。

もともと執刀の機会は頂いておりましたが、上級医の指導のもとという前提は、大変ありがたい環境であったことが初めてわかりました。

また、自身が指導という立場で手術時に後輩を育てるということも、非常に難しいことを思い知らされました。

今まで自分が頂いたものを、後輩に返していくということが今後の使命であり、また自己研鑽も継続していかなければならないため、できれば年を取りたくないと思っています。

今年の抱負は、自身の研鑽もさることながら、後輩への恩返しに取り組みたいですと思っています。先輩への恩返しは、現実としてなかなか難しいので、後輩が対象となっている点をご理解頂きたいです。U-40 の活動で若手心臓血管外科医が増殖するよう頑張ります。また、恩返しの意味では、論文発表に関しても、後々の医学者への恩返しという点では同じかもしれないと、ようやく思い始めたので、学術的な活動にももう少し比重を置いていきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

中部支部幹事

福井大学 心臓血管外科
矢野 啓太



中部支部幹事、福井大学 心臓血管外科の矢野啓太と申します。

2011 年卒の医師 10 年目、U-40 の活動に参加させていただき次で 3 年目となります。本年度はコロナ禍の中の BLC と、大変工夫の必要な、貴重な体験をさせて頂きました。今後は中部地区をはじめ日本全国の若手心臓血管外科医のお役に立てるよう、さらに積極的に U-40 活動に関わっていきたいと考えております。また、U-40 活動を通して一心臓血管外科医としても飛躍できるよう精進して参りますので、よろしくお願い致します。

中部支部幹事

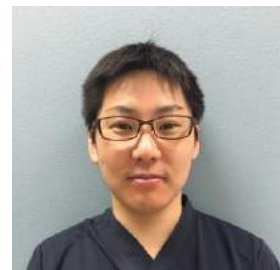
愛知医科大学 血管外科
今枝 佑輔



愛知医科大学血管外科の今枝です。U-40 中部支部の幹事を拝命し、早 2 年が経とうとしています。U-40 の活動を微力ながらお手伝いさせて頂き、また同年代の先生方との交流を深めつつ自らも少しずつではありますが、外科医としての研鑽を積むことが出来ました。昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックに伴い、学会活動をはじめとした医師の教育・訓練の現場も厳しい対応を迫られることとなりました。我々、若手医師による BLC 等も web 開催など制限を設けることとなり、慣れない環境での活動に奔走した 1 年でありました。まだまだ窮屈な日々が続きますが、次の 1 年も若手一同切磋琢磨してお互いにレベルアップしていける年にしていけたら幸いです。

中部支部幹事

愛知厚生連海南病院 心臓血管外科
西 俊彦



中部地区幹事の西 俊彦と申します。現在、愛知厚生連海南病院心臓血管外科に勤務しております。

2020 年から幹事に加えていただき、U-40 の活動に参加させていただいております。

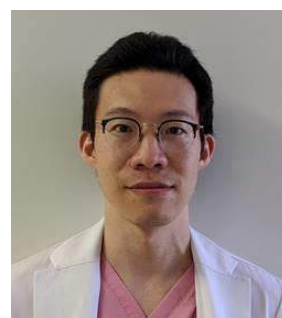
コロナウイルス感染がなかなか収束しないため、直接会員同士が顔を合わせる機会が作りにくく、U-40 の活動も変化せざるを得ない難しい状況ではありますが、微力ながら貢献できればと思っております。

2021 年度で卒後 12 年目となりますが、日々自分の至らなさを痛感しております。

U-40 の皆様とともに成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

中部支部幹事

富山大学 心臓血管外科
鳥塚 大輔



富山大学の鳥塚大介です。小児心臓血管外科を専攻しております。U-40 の活動を通して、自己研鑽とともに、中部地区で心臓血管外科が盛り上がっていくようお手伝いできたらと思います。よろしくお願いいたします。

中部支部幹事

三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科
別所 早紀



三重大学医学部附属病院 胸部心臓血管外科の別所早紀と申します。成人心臓血管外科を専攻しています。

昨年は COVID-19 により、日常診療も、U-40 の活動も、大きく変化した 1 年でした。今年もまだまだ COVID-19 の影が濃く残る日々となりそうですが、そんな中でも、心臓血管外科を盛り立てていけるよう、精一杯頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

中部支部幹事

名古屋大学 血管外科
鶴岡 琢也



名古屋大学大学院血管外科の鶴岡と申します。基礎研究の期間を経て、臨床に励む今日この頃です。市中病院で勤務していたころは research の重要性、意義というものがわかっていなかったように思います。大学院（大学病院）での生活を4年間経験し、症例や data の蓄積がどれだけ貴重なものか、理解できたような気がします。

と言いつつ、いざ臨床の場面では、個々人の経験や知識の蓄積が物をいう場面は多く、足りない経験や知識を他の先生方に助けてもらうことがしばしばあります。そんな中、U40という組織において、特に血管外科の分野で他の支部の先生方と交流ができることは、非常にありがたく感じます。血管外科医の明るい未来のため、同世代だけでなく、指導的立場の先生方や fresh な先生方とも交流をますます広げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

中部支部幹事

岐阜市民病院 心臓血管外科
木股 竜太郎

近畿支部

近畿支部代表の本宮 久之です。今年度は予想だにしなかった新型コロナウイルスの猛威の影響で我々近畿支部としても U-40 としてのあり方を大きく変更せざるを得ませんでした。今まで顔を突き合わせてやっていた幹事同士のミーティングも web で行うこととなり、当初は何かと違和感を感じるが多かったですが、実際やってみると online での BLC は座学・実技共に好評であり今までとは異なる側面から BLC を行うことができ、新たな発見であったと思います。来年度以降の BLC に関してはまだこういった形式での開催になるかは相談中ですが、今年度の新たな発見を次に活かしていけたらと考えています。近畿は病院数の多い地域であり比較的支部内のアクセスも良いため、次年度も活発な活動を行っていくことが目標です。幹事をやってみたいとか少しでも興味があるという方、ぜひ御連絡ください！

近畿支部長

京都府立医科大学大学院医学研究科 心臓血管外科学
夜久 均 先生



この1年は新型コロナウイルスに翻弄されました。まだそれが続いています。まだこれから先最低1年は続くといわれています。この状況の中で如何に教育、トレーニングを行うのかは、心臓血管外科医が直面している大きな問題となっています。近畿支部での U-40 の BLC は座学もトレーニングも昨年は WEB で行われました。予想に反して(?) かなりうまくいったと好評です。特にトレーニングに関してはいろいろな工夫がなされ、様々な試みが全国的に展開されています。日本冠動脈外科学会では冠動脈オリンピックが企画され、若手心臓外科医から日頃の練習の成果が披露され、多くの聴衆と共有することができ、またかなり詳細な吻合技術の客観的評価が行われ、手術においても再現性を持った客観的評価が可能である事が示されました。また私が会長で行いました第51回日本心臓血管外科学会では Challengers' Live Demonstrations の本戦を行いました。その予選会には U-40 の先生がビデオで応募いただき、4 人の本戦出場者を選び、本戦では事前収録ビデオを WEB で流し、術者が出演の下、エキスパートの先生方にコメントを聞きました。David Taggart 先生にもライブで参加いただき、それぞれの手技にコメントを頂き、評価にも加わっていただきました。振り返ってみると、WEB だからこそできることもある事がわかってきました。是非 U-40 の若い柔軟な思考を駆使していただき、心臓血管外科の新しい有効なトレーニングの方向性を模索して下さい。近畿支部長として応援いたします。

近畿支部代表幹事

京都府立医科大学 小児心臓血管外科

本宮 久之



2011年卒業、京都府立医科大学 小児心臓血管外科の本宮 久之です。近畿支部の代表2年目に突入しました。元々同じ職場の先輩がU-40に入っており、海外留学に伴う異動でU-40に飛び入り参加することになりました。その時点ではU-40については全くの無知でしたが、、、そのような状態から始まってはや4年になります。なぜU-40という組織が存在するのか、それは簡単に言うとU-40という組織を作らなければいけない程、心臓外科の若手獲得がピンチになっていると言うことに尽きると思います。今までの、きつい、厳しい、帰れない、プライベートはない、でも手術させてくれない心臓外科の働き方では、よほどどMな人しか心臓外科に入ってくれません（僕はそれを承知でこの世界に入りましたが、どMではないことをこの場を借りて明記しておきます・・・）。これから先3,40年の心臓外科の未来が明るいものになるように、今議論し働き方や専門医制度など変えていかなければいけない事が山積みの現状を一つずつ解決していくために近畿支部の代表として頑張ろうと思います。全然関係ないですが、中学から大学まで野球をしており、学会の度に球場観戦に行くのが楽しみでした。コロナが落ち着いて学会に現地参加できるようになれば一緒に行ってくれる方、募集してます！笑

近畿支部副代表幹事

大阪市立大学 心臓血管外科

西矢 健太



2018年より近畿支部幹事をさせていただいている大阪市立大学の西矢健太と申します。U-40ではBLCなどの活動を通して異なる医局や他施設の若手心臓血管外科医が交流できる場を提供しています。2020年からウェブでの開催方式となりましたが、むしろ様々な地域の施設から参加していただきやすくなりました。普段お話しする機会がない先生の講義を通して多くの刺激を受けることができます。そのような機会を通して心臓血管外科の発展のお役に立てればと思いますので、どうかよろしくお願いします。

近畿支部広報

国立循環器病研究センター
中村 悠治



2020 年は兎にも角にも 2019 年末からの COVID-19 に影響され続けた一年でした。しかしその成果として、学会や BLC などのオンライン開催の礎ができ、自分を含むこれまで日常診療に忙殺され学会参加の機会を逃してきた先生方にとっては、その敷居が幾分か下がったのではないのでしょうか。また各種の講演会がウェビナーとしてどこからでも参加できるようになり、他施設の治療戦略や成績、最新の知見などを知り、それに対して活発な議論が行われる機会が増えたことで、個人のレベルで医療の発展に貢献しやすくなったと感じました。U40 近畿支部では 2020 年度の BLC として、移植医療に携わる人が少しでも増えればという思いで、国立循環器病研究センター移植医療部の福嶋教偉先生に日本の移植医療の歴史と現状について御講演を頂きました。また、オンラインで活発に情報がやり取りされて透明性が高まり、これまで漠然としか分からなかった他施設と自施設との違いが明確になるに伴い、労働環境や修練体制など我々心臓外科医を取り巻く環境を変えていかざるを得ないある種の強制力が働くようになったと感じます。特に絶滅危惧種と称される小児心臓外科医にとっては、切実な問題であると認識しています。2021 年度以降は自らも U40 の先天性プロジェクトに参加し、施設の集約化、研修プログラム・到達目標設定などに携わっていければと考えています。最後になりますが、2021 年 4 月からは静岡こども病院へ移動し、U40 も中部支部へ移動致します。今後とも宜しくお願い致します。

近畿支部幹事

兵庫県立尼崎総合医療センター
植野 剛



近畿支部幹事

大阪大学 心臓血管外科
梶田 浩禎



U-40 近畿支部の幹事を務めております大阪大学心臓血管外科の梶田浩禎（ますだひろただ）と申します。近畿支部の幹事になり、もうすぐ3年が経ちます。

私は少し変わったキャリアを持っておりまして、海外製品のような革新的な医療機器を開発するために、医療機器開発の本場のスタンフォード大学へ留学しておりました。普段、医療現場で忙しく働く日本の若手医師から面白いニーズとアイデアを募り、U-40 から世の中を変えてしまうような医療機器を生み出すことができればと思っています。

ご興味のある方はご連絡をお待ちしています。

近畿支部幹事

関西医科大学 心臓血管外科
大野 雅人



頑張ります。末梢血管を中心に日々診療しております。

中国四国支部

中四国9県にまたがる広いエリアで活動しています。昨年度この Annual report で BLC の各県持ち回りの楽しさについて語り、『さて、次回開催は……？乞うご期待！参加申込はお早めに！！』と書いて煽ったものの、どの県でもなく WEB 開催になるとは思ってもみませんでした。当支部はオンラインレクチャーにおいては「肺循環」というテーマを担当し、手探りではありましたが、講師の先生に恵まれたこともあって十分な役割は果たせたと思います。来年度も、より面白い BLC にするべく一丸となって試行錯誤していく所存ですので、よろしくお願いいたします。

中国四国支部長

山口大学大学院器官病態外科学

濱野 公一 先生



昨年より徳島大学の北川教授から U-40 の中四国支部長を引き継ぎました。一昨年までは、広い中四国を徳島へ米子へと場所を移しながら、中四国の U-40 のメンバーと指導者が集まって対面形式で BLC を行っていました。いつも会場は熱い雰囲気に含まれていて、とても良い雰囲気だなと感じていました。中四国は、人口が減少している県も多く、若手の心臓外科医がどの程度おられるのかと心配していましたが、会場に行ってみると、こんなにもいるのかと驚かされていました。昨年は、コロナの影響で、対面形式がかなわず、オンライン形式となってしまいましたが、やはり、対面が盛り上がります。近い将来、コロナを克服して、また、集まり、熱い指導が展開されることを望みます。非力ではありますが、U-40 のために尽力しようと思っていますので、どうかよろしくお願いいたします。

中国四国四国支部代表幹

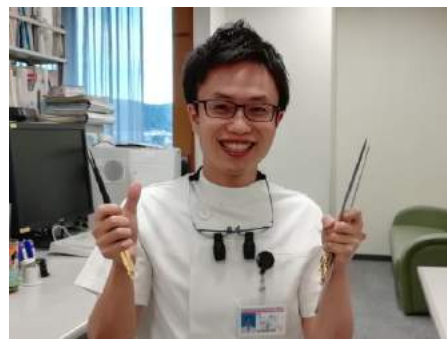
四国こどもとおとなの医療センター 小児心臓血管外科
中川 さや子



こんにちは、四国こどもとおとなの医療センター小児心臓血管外科の中川さや子と申します。本年度はのっけから BLC の開催が危ぶまれ、ここ数年続いていた異様に参加率の高い懇親会もできそうもなく、良い流れを断ち切ってしまうことに無念を感じておりました。しかし蓋を開けてみれば全国のベテランの先生方、U-40 メンバー全員を巻き込んでのオンライン BLC は、今までにない新しい面白さの連続でした。そんな新しいオンライン BLC に、レクチャーやハンズオンの準備はもちろんのこと広報担当としても WEB サイトやポスターの作成などで貢献できたことがうれしかったです。企画半ばに体調の都合でお休みをいただいていたことが悔やまれますが、おかげさまで元気に職場復帰できまして今後も幹事続投の予定です。来年度の BLC は何が起こるのか、楽しみにしていますと幸いです。

中国四国支部副代表幹事

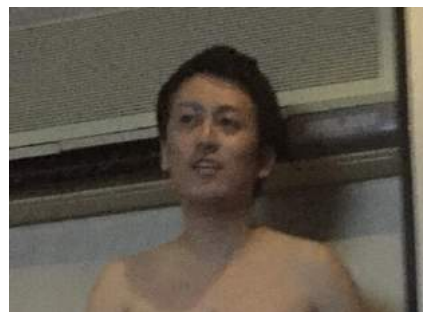
岡山医療センター
井上 善紀



岡山幹事の井上善紀です。全国の近い年代の先生方のご活躍の刺激を受け、切磋琢磨していくきっかけが U-40 活動の中にあります。それを活かして知識・経験・技術の向上のみならずノンテクニカルスキルを磨くことも目指しています。2021 年度の目標は、MVR をどんな形であれ執刀する(未経験)、昨年度書けなかった論文を書く、ビジネス書を 10 冊読む、所属施設での自らの評価がいい方向へ変化することです。

中国四国支部幹事

愛媛大学 心臓血管外科
浪口 謙治



愛媛大学心臓血管外科の浪口謙治と申します。2012年卒業で専門は成人心臓です。自身の目標として、「今年は心臓血管外科専門医取得する」と意気込んでおりましたが、メジャー3学会（胸部外科学会、心臓血管外科学会、血管外科学会）に入会するのが遅く、1年お預けとなりました。冠疾患学会と循環器学会には長年にわたり入会してきましたのですが、、、

このエラーは地域による情報格差からきたのでしょうか？このような悲劇が繰り返されないよう、後輩の教育および都市部・中央部との交流をしっかりとしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

中国四国支部幹事

近森病院
衣笠 由祐



中四国支部幹事の衣笠由祐です。高知県の近森病院に所属しています。今や希少種となってしまった大学医局非所属群で頑張っています。高知県は全国有数の超高齢県で症例の宝庫ではありますが、若手心臓外科医が少なく修練を積むには穴場中の穴場です。陸の孤島であるという最大のウィークポイントも、リモート・オンラインの急拡大により解消されつつあります。高知を訪れる機会はありませんが、素晴らしい気候、美味しい食事、密にならないアクティビティ（キャンプし放題）など最高の田舎です。高知の宣伝ばかりになってしまいました。先行き不透明な with corona の時代ではありますが、心臓血管外科 U-40 をより一層盛り上げていけるよう尽力して参ります。

中国四国支部幹事

鳥取大学
堀江 弘夢



2012 年卒堀江弘夢と申します。

U-40 鳥取県幹事も 2 年目突入となりました。皆様も同じ気持ちとは思いますが、今年度は対面でのハンズオンや BLC などができず、もどかしいものとなりました。

それでも執行部の方々中心にオンラインでの様々な代行活動を企画していただき、我々もなんとか気持ちをつないで活動しているという印象です。いつかまた対面で交流ができることを目指し、今後も中四国代表の一員として尽力いたします。

私は鳥根県松江市の出身であり、18 で隣県の鳥取県米子市にあります鳥取大学へ入学、そのまま同大学の心臓血管外科医局へ所属しています。ほぼ山陰から足を出さない人生で、人生での唯一の刺激？が U-40 での活動とっております。

研修医時代に結婚、現在は 3 児の父という側面もあります。私の入局時と比してこの 10 年で医師のワークライフバランスはだいぶ改善されているとはいえ、心臓血管外科医と父親の両立の難しさは底知れず、その点に関してもこの U-40 の活動の中で学会へアピールしていけたらなと考えています。

中国四国支部幹事

徳山中央病院
松野 祐太郎



山口県幹事の松野祐太郎です。2020 年度から幹事として U-40 に参加しています。幹事としての参加初年の昨年は、コロナ禍のため例年とは異なる U-40 の活動となりましたが、非常に実りのある一年でありました。地域の枠を超え、今後より交流を広げていきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

中国四国支部幹事

JA 尾道総合病院 心臓血管外科
児玉 裕司



中四国支部幹事 JA 尾道総合病院 心臓血管外科の児玉 裕司と申します。時間が経つのは早いもので、少し前まで受講者として U40BLC に参加していた気がするのですが気がつけば幹事の任期もあとわずかとなり、over 40 になろうとしております。若手の皆さん「時は金なり」とはよくいったのもで、時間はあっという間に過ぎますので限られた時間を大事に、様々なことにチャレンジしてってください。U40 の幹事として少しでもそういったチャレンジの機会を作れるよう助力していこうと思いますのでよろしくお願いします。また、この1年は COVID-19 の影響で BLC もこれまでの現地開催と変わってオンラインの形態となりました。個人的には大勢の参加者や講師の先生方と直接交流のできる従来の形式の BLC が好きでしたので1日でも早く COVID-19 の状況が改善し、また皆で集まって BLC が開催できる日が来ることを願っております。

九州沖縄支部

当支部は、福岡4名、佐賀1名、大分1名、宮崎1名、鹿児島1名、沖縄1名の9名のメンバーで構成されており、2019年までは毎年夏にBLCを開催し、飲み会（意見交換会）などを行ってきました。今年はコロナ禍ということもあり、定期的にWEB会議を行い、BLCや学会活動、近況などについて話し合っています。BLCの活動もいろいろと変革され、当支部でもオンラインでのサポートや座学の講演など昨年とはまた違った形でU40の活動に取り組んで参りました。特に今年は第51回日本心臓血管外科学会において、U40特別企画での発表・討論の機会を頂きました。若手の意見を反映しつつ、より良い心臓血管外科ライフを皆様が送れるよう、九州、また全国の若手を盛り上げていきたいと思えます。

九州沖縄支部長

U-40 九州沖縄支部 担当理事
大分大学医学部付属病院 心臓血管外科
宮本 伸二 先生



昨年森田茂樹先生の後を引継ぎ九州支部長になりました。とたんにコロナ禍に入り、一個人としても理事としても要領を得ないまま一年が過ぎてしまった感があります。そんな中U-40は山本理事のもといち早く対応し on line 講習会への移行を成し遂げたことに感心しています。感心したというのはいささか他人事ですが、U-40はそもそもみなさんで企画して動かしていくもので僕らはあくまでもサポートをするものだと思っています。

胸部外科学会もU-40と同じ組織を作ろうという動きがありますが、漏れ聞くとおそれるようになりますと呼吸器外科はそもそも30歳代でやりたい手術をさせてもらっているようで手術に飢えていないというか、満足しているというか、ですので若い世代がまとまって主張することもないようです。心臓血管外科でU-40の活動が盛なのはやりたい手術をさせてもらっていないというストレスが溜まっていることを表しているのだらうと思います。僕ら指導者はそのストレスをできるだけ取ってあげる努力をするべきですが、患者さんにはベストの医療を届けなくてははいけないのでどうしても技術の受け渡しには慎重にならざるを得ません。あせらないで、とはいいいませんが、人生はそれなりに長いですから、今の飢餓感を大切にしてU-40の企画などを通して知識と技術を蓄え行けといわれればいつでも行けるよう ready でいてください。九州は心臓血管外科医師のまとまりもよいですから、我々お兄さん、お姉さん（のつもり）はいつでも全力でサポートしますので是非頼ってください。

九州沖縄支部代表幹事

聖マリア病院
和田 久美子



渡邊隼先生、西村征憲先生、野上英次郎先生に次いで、昨年度より後任を務めさせて頂いております和田 久美子と申します。医局は久留米大学心臓血管外科に所属しており、聖マリア病院心臓血管外科に所属しています。（写真の緑のは久留米のくるっぱというゆるキャラです）

入局の際、女性外科医としてのキャリアパスを作ってほしいと言われました。残念ながら結婚・出産というライフイベントはまだ達成できておりませんが、実際にそのイベントがあった場合の職場の反応や仕事内容の変化など、考えるだけでかなり不安です。外科医としての修練を積みつつ、今後こういった道のを歩んでいくのか、私自身も先行き不透明ではありますが、U40での活動を通して様々な刺激や気づきがあるかと思います。働き方改革や外科医のワークライフバランス、専門医制度、コロナ禍での Off the Job Training など、若手心臓血管外科医の抱える課題は多くありますが、少しでもそういった課題が解消されるよう、微力ながら U40 の活動に貢献できればと思っています。早く BLC が現地開催できる日が来るよう祈っております。

九州沖縄支部副代表幹事

九州大学病院 心臓血管外科
原田 雄章



今後も九州沖縄地区を盛り上げ、切磋琢磨し合える仲間を増やしていければと思います。

九州沖縄支部幹事

琉球大学
比嘉 章太郎



皆様こんにちは。U-40 九州沖縄支部幹事を務めさせていただきます比嘉章太郎と申します。昨年は COVID-19 の影響で、学会などもオンライン開催となり沖縄から出られる機会が減ってしまいました。今までは学会のついでにその都市の観光をするのが楽しみでしたので、早く以前のような落ち着きを取り戻してくれることを願っております。また最近ステイホームを楽しむため料理を始めてみました。人様にお見せできるものではありませんが、仕事以外に楽しみを持つのもいいものだと感じております。今年は仕事もプライベートも充実できるよう全力で突っ走りたいと思います。U-40 や学会活動にも貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

福岡大学 心臓血管外科
寺谷 裕充



九州沖縄支部幹事，福岡大学心臓血管外科の寺谷裕充です。昨年はオンラインでの BLC 開催，と新たな取り組みとなりました。やはり対面での開催というのが理想ではありますが，オンラインでも充実した形式となるようアプローチしていく状況であるとも考えています。引き続き微力ではありますが U40 の活動に貢献できればと思っています。よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

鹿児島大学病院 心臓血管外科
永冨 脩二



九州沖縄支部幹事を務めさせていただいております鹿児島医療センターの永冨脩二です。昨年からは新たな形での BLC 開催など慣れないことも多いですが、今後も皆さんと協力して貢献していければと思います。よろしくお願いいたします。

九州沖縄支部幹事

県立宮崎病院
川越 勝也



U-40 九州沖縄支部の幹事を務めさせていただいております川越勝也と申します。自分自身もまだまだ指導を仰ぐ立場ではありますが、たくさんの人とふれあう中で精進していければと考えております。円滑に U-40 の活動が進むよう微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

大分市医師会立病院アルメイダ病院
阿部 貴文



2018 年の九州沖縄支部の BLC に参加した際、幹事のお誘いを頂いたのをきっかけに幹事を務め 3 年目になります。U-40 には、医局や病院の枠を超えて同世代の心臓血管外科医とのつながりができるという素晴らしい役割があると思います。同じ世代であるからこそ、同じような悩みを抱え、またそれを共有し相談することができる仲間が、U-40 にはいます。若手の力で U-40 を盛り上げて行きましょう。宜しくお願い致します。

九州沖縄支部幹事

嬉野医療センター 心臓血管外科
山元 博文



嬉野医療センター心臓血管外科の山元博文と申します。

2020 年は U40 の幹事として初めて活動に参加させていただき、他の施設の先生方と交流することで大変貴重な経験をさせていただきました。今年も U40 の活動をとおして自分自身も様々なことを学びつつ、少しでも貢献できるように努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

九州沖縄支部広報

産業医科大学 心臓血管外科
幾島 栄悟



昨年度より九州沖縄支部幹事として、また、全体広報として U-40 の活動に参加させていただいております。本年度は BLC のオンライン開催といった大きな変化があり、広報としても開催の周知に苦心した 1 年でした。微力ではありますが力になれるよう精力的に活動させて頂きたいと思いますので、今後も宜しくお願い致します。

U-40 プロジェクト

U-40 では、現在

”日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム”,

”Advanced Lecture Course (ALC)”,

”基本技術定量化プロジェクト”,

”先天性プロジェクト”

”女性医師キャリア形成プロジェクト”

の 5 つのプロジェクトが進行しています。

ここでは、各プロジェクトの代表者から本年度の活動を報告致します。

日本心臓血管外科学会雑誌 U-40 コラム

秋田大学 心臓血管外科
高木 大地



【2020 年度 活動報告】

U-40 コラムは、若手心臓血管外科医が行う手技の共有と一般化を目標として始まり、

「U-40 Surgical Skill Sharing —今更聞けない心臓血管外科基本手技」として、2020 年の日本心臓血管外科学会には本コラムの書籍化され、転換期を迎えました。

現在は、若手心臓血管外科医師を取り囲む環境は大きく変化していることから、U-40 においても情報の共有・意見の発信のために、「働き方改革」や「新専門医制度」などをテーマに、心臓血管外科学会雑誌においてコラムを掲載させていただいています。

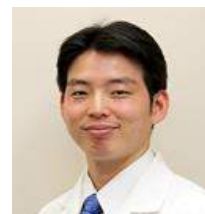
「働き方改革」においては、他科との比較や東京都に焦点を当てた、「心臓血管外科と他科との違いから考える働き方」、「都内における若手心臓血管外科医の当直とオンコール体制の実情に関する調査」や、「心臓血管外科医の休み方を考える」など、非常に面白い内容になったと考えています。

現在進行中の、「新専門医制度」においては、田中代表より修練医や修練施設が抱える様々な現状・問題点を報告していただき、今後も、各支部より面白いコラムが発表できると思っています。

今後も本企画が、U-40 の理念である 3 つの笑顔に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

Advanced Lecture Course (ALC)

聖路加国際病院 心臓血管外科



【2020 年度 活動報告】

U-40 Advanced Lecture Course は、Basic Lecture Course(BLC)からさらに一步進んだ内容を学ぶことを目標に、U-40 会員を対象にレクチャー、ハンズオンなどを行っております。例年行っている、各支部 BLC 予選通過者による冠動脈バイパスコンテストに加え、昨年度は不整脈外科のレクチャー、ハンズオンを行いました。今年は新型コロナウイルス感染拡大を受け、第 50 回心臓血管外科学会総会時の冠動脈バイパスコンテストは開催が危ぶまれる状況でしたが、理事の福田先生、山本先生、会長の横山先生のご尽力もあり、感染予防を徹底した上でオンラインを併用しての開催となりました。開催概要について、ご報告させていただきます。

●日時 2020 年 9 月 13 日

●場所 参加者・・・EBM ふくしま製造開発センター(FIST)

●参加者

支部	氏名	所属
北海道	沼口 亮介 先生	帯広病院
東北	今村 優紀 先生	弘前大学
関東	小林 勇哉 先生	日本赤十字社医療センター
東京	角 康平 先生	イムス東京葛飾総合病院
中部	西 俊彦 先生	海南病院
近畿	長命 俊也 先生	神戸大学
中四国	浪口 謙治 先生	愛媛大学
九州沖縄	古賀 佑一 先生	佐賀大学

●講師

新浪 博士 先生	東京女子医科大学
徳永 滋彦 先生	JCHO 九州病院
山口 敦司 先生	自治医大さいたま医療センター
高橋 政夫 先生	平塚共済病院

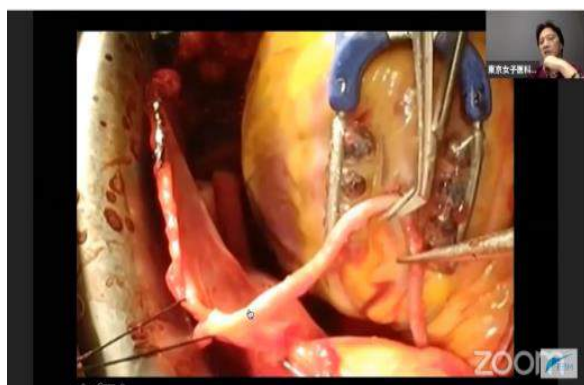
●レクチャー

「OPCAB による in situ BITA を使用した多枝バイパスの knack & pitfalls」

東京女子医科大学 新浪 博士 教授（座長：田中千陽）

冠動脈バイパス術における若手心臓外科医の次のステップへ向けて、より踏み込んだ内容についてレクチャーを頂きました。

前半では PCI と比較した CABG の long term outcome の Evidence、なぜ CABG が優位なのかという理論、また動脈グラフトを使用することの利点などについて講義頂きました。後半は in situ BITA を使用した sequential bypass による完全結構再建について、技術的な側面をお話頂きました。参加者からは graft harvesting や sequential bypass 時の graft 長の決め方、若手外科医の修練などについて多くの質問が集まり、盛んな discussion が行われました。



ZOOM でのレクチャー風景

●コンテスト

レクチャーの後、FIST にて吻合コンテストを行いました。現地では U-40 東北支部石田・黒田が助手を務め、U-40 吉野・田中が司会を、U-40 高橋が吻合の実況中継を行いました。

講師 4 名はオンラインで評価を行いました。評価には google スプレッドシートを使用した評価表を用いてリアルタイムに行って頂きました。4K カメラによる吻合部の描出は概ね良好でしたが、パラシュートまでのグラフトが一部の参加者で描出しづらかったこと、参加者の

頭が重なり一部の吻合が見えないなどの課題が見つかりました。評価表の集計は自動で行う

ことが可能でしたが、評価表の空欄などがないか、随時 U-40 幹事がオンラインでチェックを行いました。結果は優勝：小林（関東支部）、第 2 位：角（東京支部）、第 3 位：沼口（北海道支部）であり、1 位に表彰状の授与を行いました。



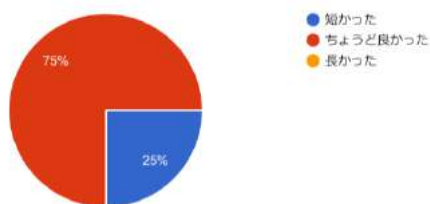
4K カメラで撮影されたコンテスト中継

●参加者アンケート

参加者 8 名のアンケート結果をお示しします。レクチャーの内容は 8 名全員がとても勉強になったと回答していました。時間については 2 名が短かったと回答しており、レクチャーの時間枠設定については今後も検討を要すると思われます。今回は、参加者から事前に質問を募集したうえでレクチャーを行って頂いた点も、満足度を上げることに繋がったかと考えられます。今後も同様の取り組みを行っていきたいと思います。

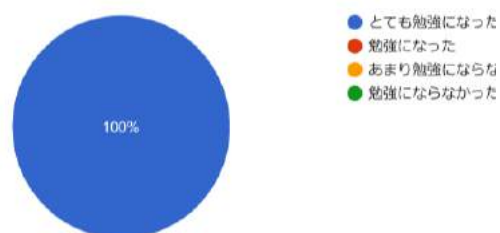
レクチャーの時間について

8 件の回答



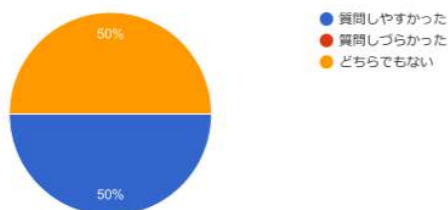
レクチャーの内容について

8 件の回答



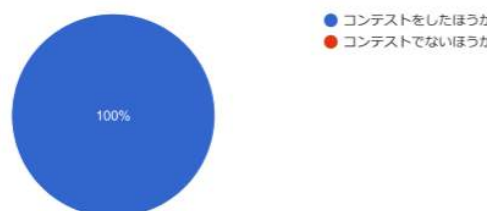
質疑応答について

8 件の回答



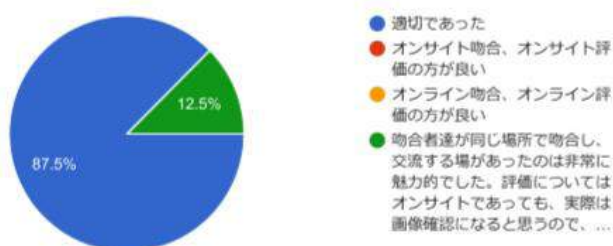
コンテストの開催について

8 件の回答



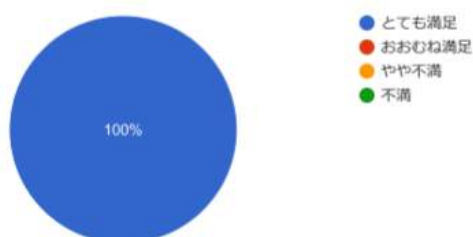
オンサイト吻合、オンライン評価の開催方式について

8 件の回答



今回のコンテスト運営について

8 件の回答

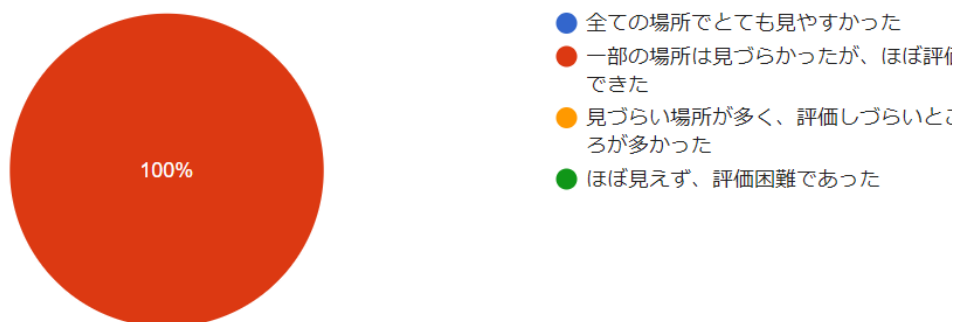


●評価者アンケート

評価者4名の先生方にもアンケートにご回答頂きました。カメラワークについては、概ね良好な描出であったとご評価頂きました。参加者の頭が入ってしまう点や、吻合過程の一部が見づらいなどの点は今後の課題として検討したいと思います。オンラインで使用した評価表についても、大きな混乱なく使用頂きました。評価項目については引き続き検討が必要と考えられます。講師の先生全員より、ALCが若手外科医の教育に効果的であると回答頂きました。

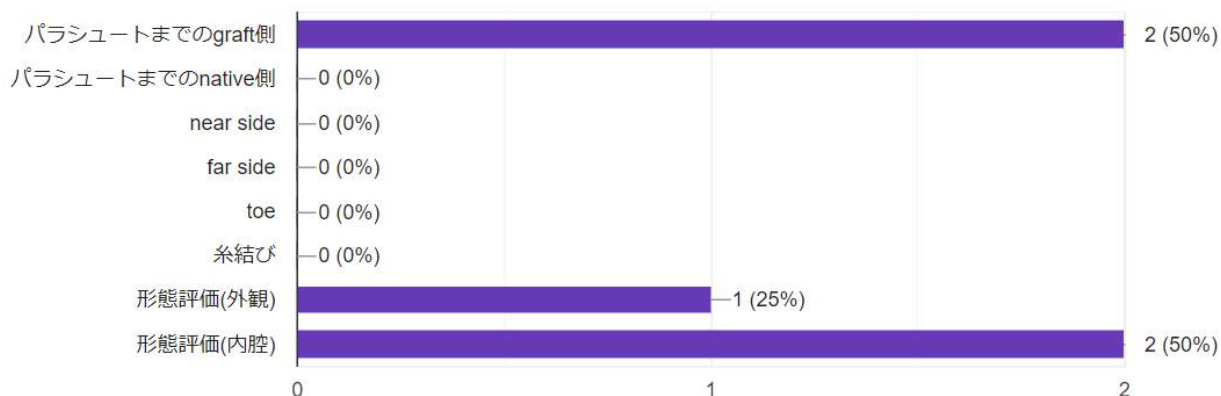
カメラによる吻合部の描出について

4件の回答



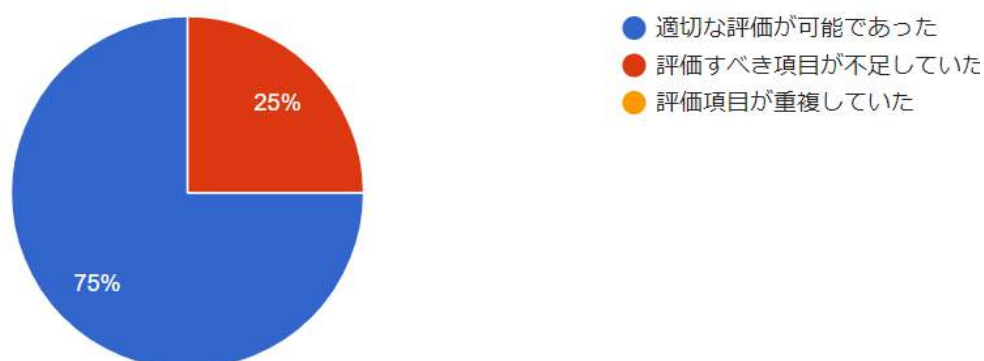
見えづらい場所があった場合には、以下をご選択ください。

4件の回答



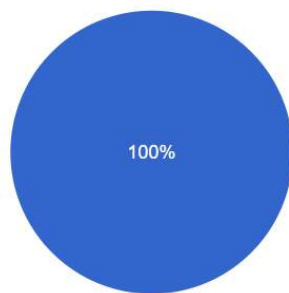
評価表の項目について

4件の回答



グーグルスプレッドシートについて

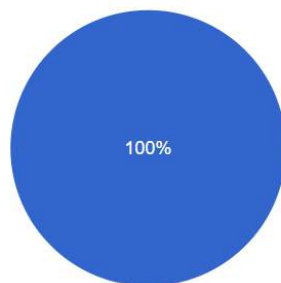
4 件の回答



- 操作は問題なく行えた
- わかりにくい部分もあったが、評価は可能であった
- 煩雑であり使用すべきでない

コンテスト中のコメントについて

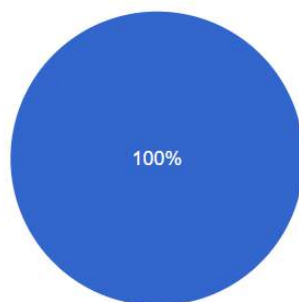
4 件の回答



- コメントしやすい環境であった
- コメントしづらい環境であった

若手外科医教育において、ALC企画は有効と思われますか。

4 件の回答



- 大変有効である
- 有効である
- あまり有効でない
- 有効でない

●まとめ

第 50 回心臓血管外科学会総会に合わせて開催予定であった ALC は、参加者のみ現地、講師はオンラインで参加するハイブリッド形式で開催しました。前半のセミナーでは、事前に参加者から質問を募集したうえで、東京女子医科大学新浪教授に講義頂き、全国より選出された参加者にふさわしい、ハイレベルな講義でした。参加者からは多くの質問も集まり、事後アンケートでは参加者から高評価を頂きました。

後半の吻合コンテストでは、完全オンラインでの評価という新しい試みで開催しました。吻合部の描出には、EBM 社の所有する 4K カメラと USB 内視鏡カメラを使用し、高精細かつ高倍率で吻合部の描出が可能でした。一方、参加者の頭が重なるなどの場面もあり、また評価者に対するアンケートでは、吻合後の形態評価がしづらかったとの意見もみられました。

コロナ禍が続く中、今後もこのような形でのセミナーやハンズオン、コンテストが必要になってくると思われます。今回初の試みで、概ね満足度の高いセミナー・コンテストが開催できた一方、多くの反省点も見つかりました。今回の知見を活かし、今後につなげていくことが重要と考えられます。



集合写真

基本技能定量化プロジェクト

名古屋市立大学 心臓血管外科
慶應義塾大学 外科学(心臓血管)
山田 敏之



去年に引き続き、「基本技術定量化プロジェクト」を担当しております。基本技術定量化プロジェクトでは、金魚すくいの「ポイ」を用いたニードルワークが企画されました。大変ユニークなアイデアで、脆弱な組織で運針するという「過負荷」の状態でのトレーニング法として考案されました。現在勤務している名古屋市立大学においても、レジデント・学生教育に好評です。

去年の annual report にも目標を記載しましたが、今年はこの「ポイ」でのトレーニング法をアップデートすべく、画像認識・解析技術を用いて針糸で縫われた「ポイ」を自動採点する手術教育アプリ「e-POI」の開発を進めております。私は現在も共同研究先の慶應義塾大学にて心臓手術シミュレーターや手術技量評価システムの開発を行っており、最新の工業技術やデータ解析技術を利用した「手術技量の定量化」を研究テーマとしております。そのノウハウを「e-POI」の開発に応用しており、2020年には皆様のお手元にお届けできるように関係者全員で頑張っております。

このアプリにより、「ポイ」を用いたトレーニングも一時点での技量の定点観測から一定期間のトレーニング効果を測る教育ツールになることが可能となります。また、手技を行う対象としての「ポイ」自体のアップデート（トレーニングの対象物自体の改良）に取り組むことや、新たな評価方法の開発にも応用可能です。今後もこの活動を通じて、我々若手心臓外科医が効果的・効率的に、しかも楽しく手術トレーニングを行うために何が必要か？を、自分たち自身で考えていけるような活動を提案していきたいと思っております。



[実際のポイを使用したトレーニング風景]



[e-POI のイメージ図]

先天性プロジェクト

U-40 先天性プロジェクトリーダー 平野 暁教 (都立小児)
サブリーダー 原田 雄章 (九州大学)



2020 年度の U-40 先天性プロジェクトの活動報告をいたします。

U-40 先天性プロジェクトでは、小児心臓血管外科に必要なスキル向上のための Off the Job Training や、今後の小児心臓血管外科医育成について、若手の意見の集約と現場のニーズに合わせた小児プログラムを考えていくことを目的として活動しています。

【U-40 先天性プロジェクトの Mission】

- ・各支部 BLC での小児心臓外科領域のトレーニングの充実
- ・小児心臓血管外科医育成にむけた Off the Job Training の計画と充実
- ・U-40 小児心臓血管外科のための情報共有と情報交換

【U-40 online BLC 講義】

COVID-19 による活動制限を受け、U-40 BLC が全面的に online 化されました。先天性プロジェクトでは、以下の講義を実施しました。

どの講義も闊達な議論で大盛況に終わりました。Zoom webinar によるオンデマンド視聴も有用で、当日見ることが出来なかった視聴者は録画動画を後日じっくり見ることが出来、従来の講義形式より学習効果が高い印象を受けました。

(都立小児総合医療センター 心臓外科 平野暁教)

●ファロー四徴症に関する全 7 回 のシリーズ講義 「徹底的にファロー四徴症！」

(講師：岡山大学 心臓外科教授 笠原真悟先生)



「徹底的にファロー四徴症！」シリーズ 土曜 13時

- 第1回 (8月8日(土)) ファロー四徴症のストラテジー 総論
 - ・VSD術者からTOF術者になるに当たって知っておくべきこと・右室に関するストラテジーの最適化
- 第2回 (9月12日(土)) ファロー四徴症手術① VSDの縫合のポイント
 - ・通常のVSDとは違うTOFのVSDの縫合方法、助手のコツ
- 第3回 (10月3日(土)) 成人ファロー四徴症 ACHDとしてのTOFとPVR
 - ・成人したTOFで高圧なPVRとその治療
- 第4回 (10月17日(土)) ファロー四徴症手術② 右室流出路の縫合方法
 - ・右室流出路形成の考え方と実施の方法
- 第5回 (11月14日(土)) ファロー四徴症手術③ Transannular patch
 - ・Transannular patchの判断と適切なpatchデザイン
- 第6回 (11月28日(土)) 成人ファロー四徴症 再手術時のコツ、TOFの脳部巡視
 - ・再手術時の脳部巡視のコツとACHD TOFで起こり得る脳部巡視について
- 第7回 (12月19日(土)) ファロー四徴症 結紮手術 mBT shunt手術
 - ・シャントの選択と手術のポイント



笠原真悟先生による 「徹底的にファロー四徴症！」講義の様子

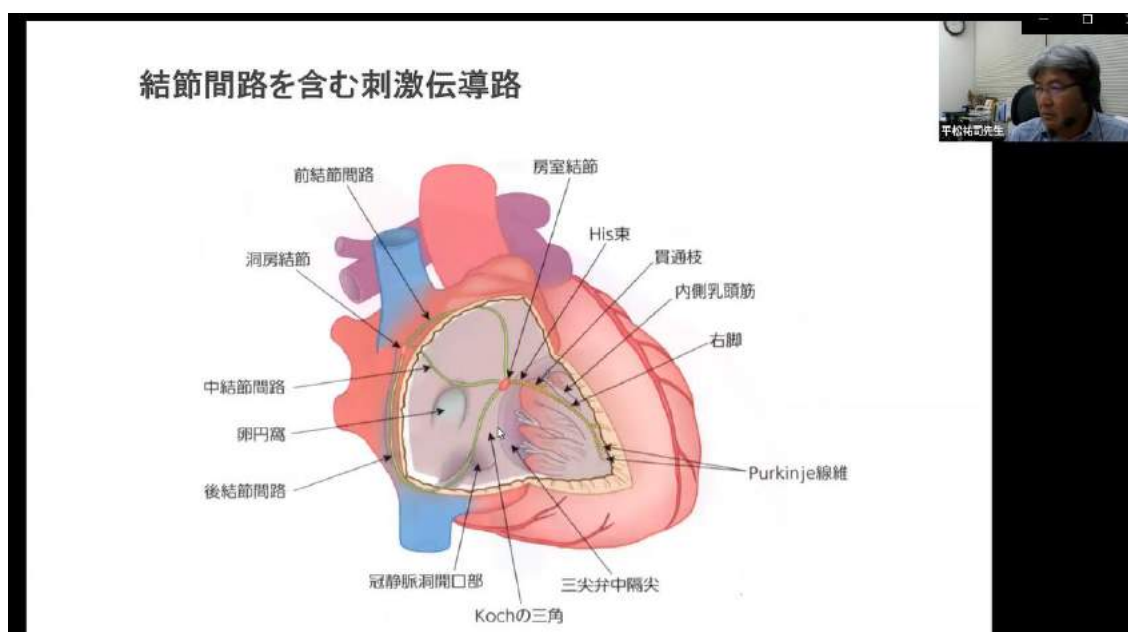
●「外科医のための心臓発生学」

(講師：慶應義塾大学 小児科教授 山岸敬幸先生)



山岸敬幸先生による「外科医のための心臓発生学」講義の様子

●「ASD/VSD と刺激伝導系」(講師：筑波大学 心臓外科教授 平松祐司先生)



平松祐司先生による「ASD/VSD と刺激伝導系」講義の様子

●「小児心臓外科医の代替わり ～順天堂大学の例～」

(講師：順天堂大学 心臓外科 教授 川崎志保理先生/ 准教授 中西啓介先生)



川崎志保理先生/中西啓介先生による「小児心臓外科医の代替わり」講義の様子

【第 56 回 日本小児循環器学会 外科系教育セミナーとコラボさせていただきました！】

2020 年 11 月 23 日に小児循環器学会外科系教育セミナーとして福岡市立こども病院の中野先生と我々U40 先天性コアメンバーを中心に「小児心臓外科医のキャリアアップとスキルアップ：若手と指導医のギャップ」をテーマにセッションをさせていただきました。

セッションに先立って 9 月 26 日から 11 月 22 日の期間に 26 歳から 68 歳まで(平均 46.4 歳)の 161 名の小児循環器学会に属する小児心臓外科医、小児循環器内科医の先生方にアンケートを取らせてもらいました。質問数も多く YES,NO 以外で記述してもらったところも多かったにもかかわらずたくさんの先生方にご協力を頂きました。

当日は司会進行は中野先生、今回 U-40 のプロジェクトリーダーをさせて頂いた原田でアンケートの結果を元に指導医グループ、中堅医グループ、若手医師グループに分かれて討論という形式で行いました。

それぞれの結果に対して各グループの先生方をパネリストとしてディスカッションを行いながら、その合間にキャリアアップに関して米国の状況を東京大学の平田先生から、欧州の状況を JCHO 中京病院の櫻井先生に登壇して発表して頂きました。スキルアップに関しては「私の自己練、こんなことやってたよ」と題して新潟大学の白石先生、平田先生、中野先生から発表して頂きました。さらに VSD 手術に特化した「VSD 閉鎖術、私のこだわり」という題で静岡県立こども病院の猪飼先生から、「小児心臓外科医に必要なノンテクニカルスキル」という題で兵庫県立こども病院の松久先生から発表があり、今回のテーマであるキャリアアップ、スキルアップだけに留まらず、幅広い内容のセッションとなりました。

コロナ禍のためハイブリッド開催となり現地に参加した人数は少なかったもののウェビナーでの参加は 200 人を超えチャットでの質問も多く大盛況でした。

今回、このセッションの時間は90分で内容も非常に幅広く濃かったため最後は駆け足となり全てのスライドをお見せできずに終わってしまった部分は悔いは残りましたが若手医師、中堅医と指導医とのギャップをアンケートベースで出すことができ、今後さらに検討していくべき点が見つかったと考えています。また、これまで今回のような各世代でディスカッションする機会は少なく次世代の小児心臓外科医の教育、育成に関して考える非常に良いきっかけになったと思います。最後になりますがこの度このような貴重な機会を頂き、また忙しい中多くの先生方にアンケートにご協力いただきましてこの場をお借りして感謝申し上げます。今後も若手医師の立場から積極的に発信していければと考えております。（九州大学病院 心臓血管外科 原田 雄章）

学会主催側からもコラボレーション企画について御報告申し上げます。

COVID-19の第3波の只中での開催となったため、残念ながら現地での活発な討論・・・というわけにはいきませんでした。オンラインでも多くの視聴者の方々に見ていただく事ができ次回につながる良い機会であったと考えています。小児心臓血管外科の世界では若手の育成が急務となっており（勿論小児だけではないでしょうが・・・）、学会側も本気で次世代育成に取り掛かろうとしています。勿論、システムを変えることはそう簡単ではありませんが、「千里の道も一歩から」というようにこのような試みが積み重なって大きな山が動くことを期待しています。

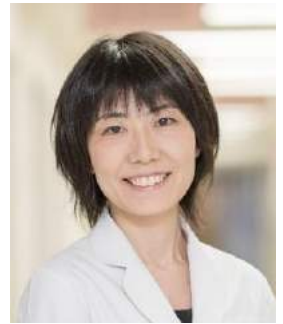
U-40の近畿支部代表として、BLCを開催して横のつながりを広くすることも勿論大事だとは思いますが、やはり次世代の心臓血管外科医をどうしていくか、それが我々にとって非常に重要な命題だと思います。そういった意味では、実際にU-40が学会とコラボレーションして次世代育成について議論できるような企画が開かれたことは非常に明るい話題であると思います。上で原田先生が仰っておられるように、今回の90分だけでは用意していたスライドすら全てお見せできず、深く突っ込んだ所までの話はできませんでした（当初はもっと過激な話等目論んでいたのですが・・・）。ですが、次回の予定も決まっていますし、今回のセッションを叩き台にして議論が進むよう我々としても次世代のために頑張りたいと思っています。U-40の提言で学会、いや日本の医療のシステムが変わる時が来る日も遠くないかもしれません。皆様の力を貸してください。

（京都府立医科大学 小児医療センター 小児心臓血管外科 本宮久之）



女性医師キャリア形成プロジェクト

横浜市立大学附属病院
根本寛子



今年度から新たに女性医師キャリア形成プロジェクトが発足し、そのリーダーを拝命しました。

日本心臓血管外科学会員の女性の割合は約 6%ですが、U-40 会員の女性の割合は約 10%と、心臓血管外科を専門に選ぶ女性医師は増えてきています。

心身への負担が大きい環境で日々努力しながらも、女性医師はトレーニングを積むべき年齢と、出産育児などで臨床を離れざるを得ない年齢が近いため、キャリアアップとライフイベントをどのように両立させればよいのかわからず、どちらかを諦めざるを得ないケースがあります。心臓血管外科の勤務内容的に、非常勤や短時間勤務が難しいことも、復帰後の働き方をイメージできない要因になっています。

私が心臓血管外科を専門に選んだ約 10 年前は、女性特有の悩みを相談できる先輩医師は少なく、女性心臓血管外科医としての生き方のロールモデルも見つけにくい状況で、独りで考え込むことが多かったと思います。しかし、U-40 の発足により女性幹事同士が気軽に交流できるようになり、徐々に問題点が明らかになってきました。

本プロジェクトでは、女性医師が抱える悩みや不安、将来への希望を共有しながら、どのように問題を解決していけばキャリアアップとライフイベントを両立できるのか考え、学会に提案していきます。第 1 弾として、心臓血管外科における性差意識や、性差がもたらす異性への無意識の思い込み、いわゆる unconscious bias を知るためのアンケート調査を鋭意準備中です。他にも、若手女性医師の悩み相談や意見交換、先輩医師との対談などを配信する、といった企画も検討しております。女性医師が働きやすい環境を作ることは、心臓血管外科全体の改善に繋がります。このプロジェクトは、女性のみならず、ぜひ男性の先生にもお力添えをいただきたく思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

BLC オンライン化への道

-オンライン BLC, はじめました-

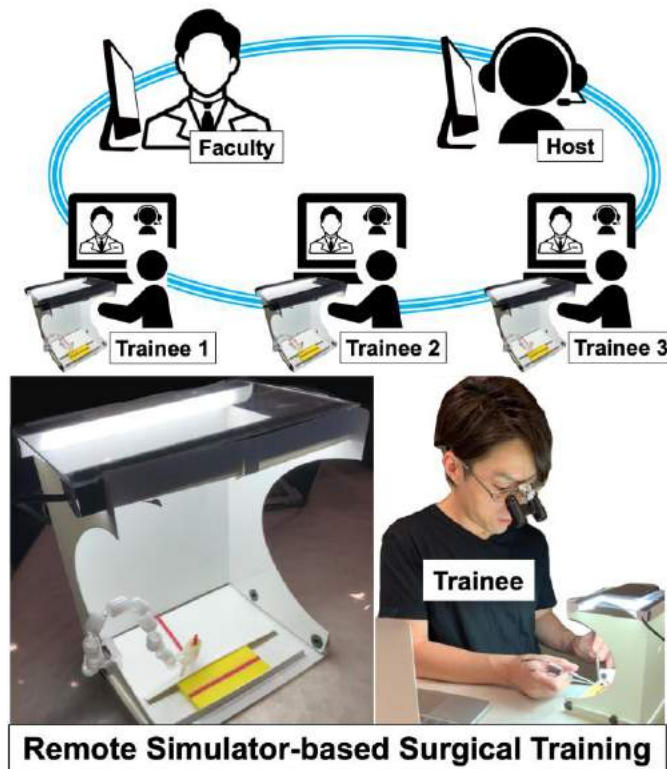
オンライン BLC ハンズオンワーキンググループ委員長
日本医科大学 心臓血管外科
高橋 賢一朗



オンラインハンズオン

今年、COVID-19 の世界的流行によって昨年までの当たり前な日常は崩れ、多くの学会がオンライン開催へと姿を変えていくのに習い、我々U-40 が展開する企画イベントもオンライン化の波に乗りました。U-40 の Basic Lecture Course (BLC)は毎年全国で修練医 300 人規模を巻き込む一大イベントですが、これもオンライン化するという計画が初夏に立ち上がりました。例年同様に BLC の理念である「座学講義とハンズオンの二本立て」というスタンスを貫きつつ、完全オンライン化するというプロジェクトです。ハンズオンをオンラインでやるというのは確立された方法はなく、どうやってやるか話し合おう、まずは話し合う仲間を募ろう、という段階から始まる長い道のりでした。全国幹事の中から Working Group のメンバーを集め、EBM 社の朴社長にも協力を仰ぎ、YOUCAN を使った冠動脈吻合レクチャープログラムを作っていました。みんなで案を出し合いながら週末にはメンバー内で実際に手技の実験をし、修正を加えながら完成形へと近付いて行きました。

最終的にはレクチャー1回あたり講師1名・受講生3名・ホスト（司会進行役）1名という少人数制をとる以下の図のようなレクチャーを全24回行う形式に辿り着きました。必要物品は自宅に郵送し、受講者は自身のスマートフォンを介してYOUCAN吻合をZoomで共有し、リアルタイムに講師から指導を施す、というシステムを採用しました。さらにレクチャーは収録してYouTubeで公開することで知識のシェアを図りました。9月～12月の4ヶ月間で述べ70名の受講者と24名の講師・ホストの先生方にご協力いただき、本ハンズオンプログラムは無事成功裏に全24回を終了することができました。有難いことに受講者の多くの先生方からオンラインハンズオンは従来の On-site で行ってきたハンズオンセミナーと同等の印象だったとの反応を頂きました。



オンライン BLC ハンズオンの様子は Youtube で公開されています。

↓ アクセスはコチラから ↓

<https://www.youtube.com/channel/UCBd9zTy96M59Wf66onmmx-A>



QR コード

U40 オンライン

オンラインBLC U-40
チャンネル登録者数 81人

ホーム 動画 再生リスト チャンネル フリートーク 概要

アップロード済み すべて再生

U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第14回 山口大学 高橋 久美子 66 回視聴・3 週間前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第13回 山口大学 高橋 久美子 142 回視聴・2 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第12回 山口大学 高橋 久美子 150 回視聴・2 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第11回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第10回 山口大学 高橋 久美子 221 回視聴・4 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第9回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第8回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第7回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第6回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第5回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第4回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第3回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第2回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前	U-40 ONLINE BLC/ハンズオン (CABG) 第1回 山口大学 高橋 久美子 215 回視聴・3 か月前
---	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---

オンライン座学講義

従来はハンズオンと同日に開催していましたが、ハンズオンのオンライン化の流れを受け座学講義もオンライン化されました。

各支部でテーマを設定し、Zoomを用いたWebinar形式で開催されました。また、先天性プロジェクトでもWebinarを開催し、ライブ視聴だけでなくオンデマンドでも視聴できることで多くの会員が参加することができ、2021年2月23日現在、のべ859人が視聴しております。

オンラインBLCのポータルサイト (<https://u40blc.web.fc2.com/>)から参加登録し、本年度の参加料金を支払い登録すればオンデマンドでも視聴可能です。

今後は座学講義のアーカイブ化を予定しており、学会ホームページで閲覧可能になる予定です。

以下、本年度に開催された各講座と2021年2月23日現在の視聴数を示します。

Basic Lectureシリーズ						
テーマ	講師	開催日時	担当支部	総視聴者数	ライブ	オンデマンド
心筋保護	森田 紀代造 先生 (東京慈恵医科大学)	2020/8/29	関東	72	48	24
体外循環① 血行動態の基礎+補助循環	朔 啓太 先生 (国立循環器病研究センター)	2020/9/5	九州沖縄	79	42	37
体外循環② Impellaを使った体外循環の工夫	朔 啓太 先生 (国立循環器病研究センター)	2020/9/12	九州沖縄	46	27	19
人工心臓のトラブルシューティング	安永 弘 先生 (聖マリア病院)	2020/10/10	九州沖縄	38	33	5
移植医療	福嶋 敦偉 先生 (国立循環器病研究センター)	2020/10/17	近畿	14	14	0
開心術縦隔炎に対する治療戦略	峰松 紀年 先生 (福岡大学)	2020/10/24	中部	25	22	3
術後管理 術後せん妄/foot care	内藤 暢茂 先生 (金沢大学) 山田 哲也 先生 (愛知医科大学)	2020/11/8	中部	14	12	2
術後疼痛管理 成人開胸、開腹/MICS/小児	斎藤 律子 先生(福井大学) 徐 民恵 先生(名古屋市立大学) 伊藤 久勝 先生(富山大学)	2020/11/15	中部	22	16	6
成人肺循環	太田 教隆 先生 (愛媛大学)	2020/11/19	中四国	27	25	2
小児肺循環	中山 智孝 先生 (高知赤十字病院)	2020/12/5	中四国	23	23	0
小児のECMO	定松 慎矢 先生 (九大病院臨床工学室)	2020/12/27	九州沖縄	29	29	0
フレイル	荒木 厚 先生 (東京健康長寿医療センター)	2021/1/19	東京	14	14	0

先天性プロジェクトシリーズ						
テーマ	講師	開催日時	担当支部	総視聴者数	ライブ	オンデマンド
ASD/VSDと刺激伝導系	平松 祐司 先生 (筑波大学)	2020/8/6	先天性プロジェクト	74	-	-
外科医のための心臓発生学	山岸 敬幸 先生 (慶應義塾大学医学部 小児科)	2020/9/19	先天性プロジェクト	84	-	-
小児心臓外科医の代替わり ～順天堂大学の例～	川崎志保理先生/中西啓介先生 (順天堂大学 小児心臓外科)	2020/10/7	先天性プロジェクト	27	-	-
のべ視聴者数				185		
徹底的にファロー四徴症！シリーズ						
テーマ	講師	開催日時	担当支部	総視聴者数	ライブ	オンデマンド
第1回 ファロー四徴症のストラテジー総論	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/8/8	先天性プロジェクト	61		
第2回 ファロー四徴症手術① VSDの閉じ方のポイント	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/9/12	先天性プロジェクト	62	57	5
第3回 成人ファロー四徴症 ACHDとしてのTOFとPVR	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/10/3	先天性プロジェクト	48	35	13
第4回 ファロー四徴症手術② 右室流出路の削り方	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/10/17	先天性プロジェクト	32	19	13
第5回 ファロー四徴症手術③ Transannular patch	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/11/14	先天性プロジェクト	24	15	9
第6回 成人ファロー四徴症 再手術のコツ、TOFの基部置換	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/12/6	先天性プロジェクト	20	13	7
第7回 姑息手術 mBT shunt手術	笠原 真悟 先生(岡山大学)	2020/12/19	先天性プロジェクト	24	22	1
のべ視聴者数				271		



「心筋保護」



「体外循環」



「移植医療」



「開心術後縦隔炎に対する治療戦略」



「成人肺循環」



「フレイル」

日本心臓血管外科学会学術総会

U-40 特別企画発表報告

第 50 回日本心臓血管外科学会学術総会

「U-40 企画：それぞれの地域で求められる心臓血管外科医－U-40 会員の 10 年後、20 年後－」

U-40 東北支部 黒田 吉則

日本心臓血管外科学会 U-40 は 40 歳未満の若手心臓血管外科医師会員で構成されている。U-40 では各地域で Basic Lecture Course (BLC) を開催し、若手心臓血管外科医の知識と手術手技の底上げと均一化を図ってきた。その根底には、心臓血管外科医として執刀できる機会が少ない状況で、若手同士で刺激しあいモチベーションを保つという目的と技術向上の Off the job training の確保の意味もあった。若手医師には手術を執刀するという目標が一番身近でわかりやすく、BLC を含めてこれまでその目標に対するアプローチはなされてきた。日本という小さい島国であっても、津々浦々地域特異性は強く、都市部や地方、大学病院や市中病院、ハイボリュームセンターではそれぞれに求められる心臓血管外科医は異なり、また海外で活躍する日本人心臓血管外科医も多い。若手医師は自分で研修の場を求め、全国または海外で研鑽を積んでいるが、各々がその置かれた環境によって意識の持ち方は異なり、自分がどのような立場を目指して心臓血管外科医として研鑽を積んでいくべきかということの一つの悩みである。また、どうしても自分の現在の置かれた環境に近いところを目標として設定しやすく、選択の幅を小さくしている可能性もある。大学の教授、ハイボリュームセンターの部長、地方市中病院の部長など、どれもその地域や病院にとっては必要な役職である。若手心臓外科医の U-40 会員が 10 年後、20 年後にどのような立場で働いているかを具体的に意識することは少ないと思われる。教授を目指すのか、海外で活躍したいのか、ハイボリュームセンターの部長になりたいのか、症例は少ないが地域の人々の命のために外科医として働くのか、また、そこを目指した場合に 40 代、50 代、60 代とどのような外科医としての道を進むべきなのか。今回は、U-40 会員からアンケートで現在の修練の環境から、将来の希望する進路などをまとめ報告した。また、学術総会では 5 名の講師の先生方から、自分の経歴と現在の立場に立つまでの足跡、また今後の目標など御講演いただいた。

セッションとしては充実していたと思うが、120 分の枠をいただいていたにも関わらず、多くの先生のお話を聞きたいと欲張ってしまい、総合討論の時間が短かくやや不完全燃焼な幹事になってしまったのが反省点であった。



座長： 田中千陽 (東海大学心臓血管外科)

福田幾夫 (吹田徳洲会病院心臓血管外科)

演者： 黒田吉則 (山形大学医学部外科学第二講座)

小野稔 (東京大学心臓外科)

緑川博文 (総合南東北病院心臓血管外科)

磐井成光 (大阪母子医療センター心臓血管外科)

中村喜次 (千葉西総合病院心臓血管外科)

東信良 (旭川医科大学外科学講座 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野)

第 51 回日本心臓血管外科学会学術総会

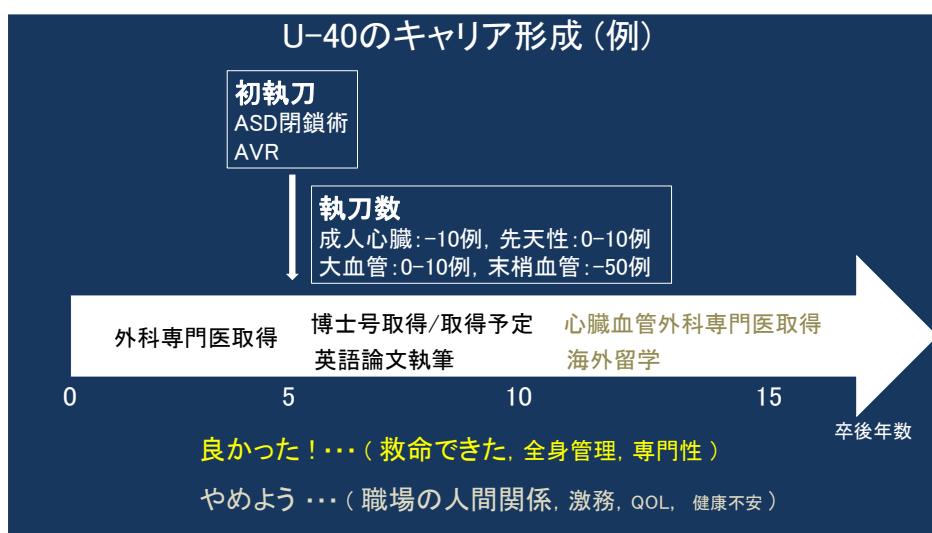
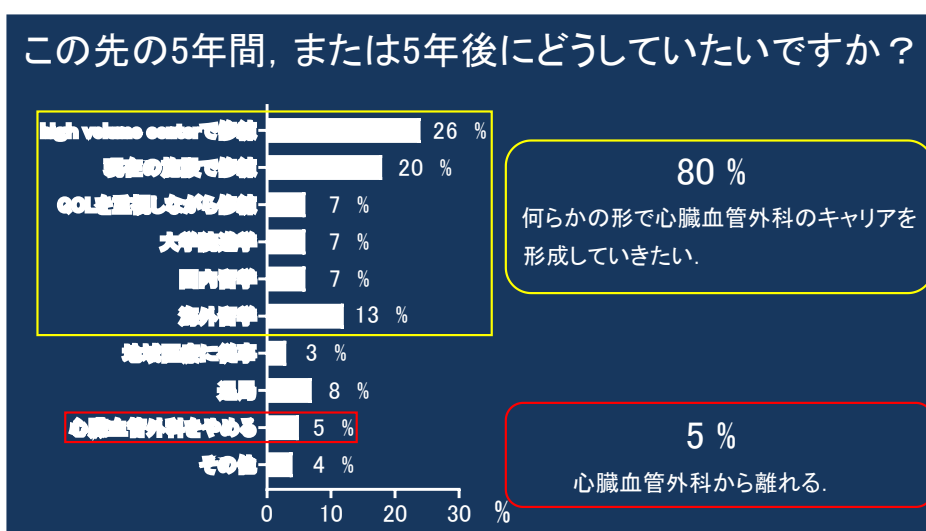
「U-40 企画：若手のキャリア形成、U40 の今後」

U-40 九州沖縄支部 和田 久美子

この度、「若手のキャリア形成、U40 の今後」と題しまして、U40 を対象に行ったアンケート結果の公表を行いました。そして 4 人のバラエティに富んだ心臓血管外科医の先生方（うち 2 人は U40 幹事 OB）に、心臓外科を志してから、現在、そして今後についてどう言った道のりを歩いてきたかについて、それぞれご発表いただきました。

当支部のアンケートでは、心臓血管外科として、若手がどのような症例をどのくらい行っているのか、専門医、学位の取得状況はどうか、心臓血管外科を続けていく上で何が問題となっているのか、今後どうなっていきたいか、などといったことに着眼点をおき検討しました。多忙な中、学術活動もしながら、私生活、家庭の問題を抱えつつ、みなさんががんばっておられ、その中で残念ながら 10% 程度の方が心臓血管外科を止める方向で考えているということもわかりました。モチベーションを保ちつつ、心臓血管外科を続けていくためにはどうしたらよいか、働き方を変えるには、タスクシフトや集約化を進めるには何が問題かなど、討論では熱い議論が交わされました。

若手の立場から、学会や社会に働きかけることができるのかできないのかまだわかりませんが、少しでも足がかりになればと思っています。貴重な機会を与えていただきありがとうございました。



62

項目	金額
ホーム・マネジメント料	289,196
Survey monkey	70,000
zoom	112,715
ALC会場費	440,440
ALCスタッフ交通費	81,371
ハードデスク購入	43,660
BLC講師謝礼金	135,404
BLC業務委託費	5,500,000
郵送費	24,240
合計	6,697,026

(受講証ミスに伴う郵送費5024円を含む)

2020年度U-4 0 収入	
参加料金	659,670

(受講証ミスに伴う郵送費5024円を含む)

— 編集後記 —

この度幾島先生とともに U-40 広報を担当させていただくことになりました関東支部副代表の伊藤貴弘です。Annual report 作成にあたり、各支部長の先生方、幹事の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。2018 年度から開始して今回 3 回目ですが、皆様のご協力のもと年を重ねるごとに素敵な仕上がりになったと思います。

COVID-19 の感染拡大に伴い、2020 年度は現地開催の BLC は中止としオンライン BLC を開催しました。リアル配信・アーカイブ配信を行うことで全国各支部の講義がいつでも受講可能であり、日常業務が忙しくオンサイトでの参加が難しい若手医師にとって大盛況でした。

今後も引き続き U-40 の活動を伝え情報を発信することで、若手心臓血管外科同士がつながり有意義な時間を共有できるよう尽力いたします。

千葉県こども病院 心臓血管外科
伊藤 貴弘

昨年度より U-40 広報を担当させて頂いております九州沖縄支部の幾島です。本年度も伊藤先生と一緒に年次報告書を作成させて頂きました。

収まる気配のない新型コロナウイルス感染で学会はほぼオンライン開催となり、U-40 で毎年開催していた BLC も今年はオンラインでの開催となりました。初のオンライン開催の学会への参加は発表原稿の録音に戸惑うことから始まりましたが、いざ開催され参加してみると様々なセッションをオンデマンドで視聴できる手軽さから、今では今後もオンライン開催は続けて欲しいと思ってます。ただ開催地で U-40 メンバーや知人等と顔を合わせる機会がないことが残念です。いやホントに。また、限られた時間で試作から運用まで行われたオンラインハンズオンですが、そのクオリティの高さや実行力には同世代としてももう単純にすごえとしか言えませんでした(語彙力)。こんな逆境ででも、いや、だからこそのつながりの力を感じた 1 年でした。U-40、いい経験をさせてもらってます。

産業医科大学 心臓血管外科
幾島 栄悟